brank **/** 鳃 **/ 「魚の鰓」を表す標準的な簡体字 / やや画数は多めだが単体で直感的に“エラ”を指す**

1. skurĝ / 鞭 / 「むち」に相当する一般的な簡体字 / 日本語の「鞭」と同根、意味がわかりやすい
2. spad / 剑 / 細身の両刃剣など「剣」を表す簡体字 / 「刀」と区別しやすく、日本語の「剣」と同系
3. kartoĉ / 弹 / 弾薬や薬包を連想させる核心字 / 本来は「弹药筒」「弹壳」など複数字だが、画数・汎用性を考え一字化
4. kiras / 甲 / 「甲冑」「装甲」などの「甲」から着想 / 画数が少なく“防具”を連想しやすい
5. ŝild / 盾 / 「盾」を表すシンプルな漢字 / 日本語の「盾」と同形でわかりやすい
6. kron / 冠 / 「王冠」「冠」を直接示す / 漢字一字で“かんむり”を表し、日中ともに認識しやすい
7. tiar / 冠 / ペルシャの王冠など特殊な冠だが、「冠」を再利用 / 学習コスト削減のため同字流用
8. egid / 盾 / ギリシャ神話の神盾だが、基本概念は“盾”なので再利用 / 同字で区別は上付き文字など後処理
9. amulet / 符 / 「護身符」など“お守り”系を示す中核字 / 日本語でも「符号」「お札」のイメージ
10. talisman / 符 / amulet同様に「護符」を指す / 同義語なので同一字を使い回し
11. rapir / 剑 / 細身の長剣(レイピア)も「剣」の範疇 / “spad”と同字だが後で区別予定
12. epolet / 肩章 / 軍服の肩章を表す標準的な2字熟語 / 単独1字が存在しないため熟語採用
13. bisturi / 手术刀 / メス(柳葉刀)として一般的 / 「刀」単体では汎用すぎるため、医療用ニュアンス込み
14. ponard / 匕首 / 両刃の短剣(ダガー) / 日常でも通じる標準的な2字熟語
15. kling / 刃 / 刃身(ブレード)を意味する最短の漢字 / シンプルで画数が少ない
16. glav / 刀 / 一般的な「刀」を指す / 「剣(剑)」との対比で、日中双方に馴染み深い
17. nadl / 针 / 針(注射針や縫い針など)を指す最頻漢字 / 画数も比較的少なく、日本語「針」とも対応
18. alen / 锥 / 革などを突き抜く「きり」「千枚通し」に近い / 日本語「錐」と同系
19. ung / 爪 / 動物の“爪”や人間の“つめ”を表す / 日中ともに画数少なく直観的
20. najl / 钉 / 釘を表す簡単な一字 / 「钉子」の略用だが単字でも“クギ”のイメージが伝わる
21. pingl / 针 / ピンも細い金属針の一種なので再利用 / nadlとの混同は後処理で区別
22. ŝraŭb / 螺丝 / 日常で「ネジ」を指す標準2字熟語 / 単字「螺」だと貝や渦など広義すぎるため熟語を選択
23. kejl / 木钉 / 木製の釘・栓を表す熟語 / 「楔(くさび)」もあるが画数考慮で「木+钉」を優先
24. martel / 锤 / 金槌に相当、シンプルな一字 / 「榔头」などより画数が少なく明快
25. ĉan / 锤 / 銃の撃鉄(ハンマー)だが、基本は“槌”の役割なので同字を再利用 / 後で上付き文字区別
26. bajonet / 刺刀 / 銃剣を直接指す一般的な2字熟語 / 「刀」を再利用しており意味も直感的

kugl **/** 弹 **/  
　- 「子弹(弾丸)」などで広く使われる漢字で、弾丸・球状のイメージに合致。  
　- 画数はやや多め(11画)だが、中国語で「bullet」を表す際に最も直感的。**

1. lanc / 矛 /  
   　- 「矛」は本来「槍・矛」を表す漢字。簡体字でも同形で画数も少ない(5画)。  
   　- 現代中国語では「枪」が「銃」を指すことが多いため、“古典的な槍”としては「矛」が適切かつシンプル。
2. arĉ / 弓 /  
   　- 弓全般(弦楽器の弓を含む)を示しうるもっとも基本的な漢字。  
   　- 画数3画と非常に少なく、日本人・中国人双方に「弓」の意味が直感的に伝わりやすい。
3. sag / 矢 /  
   　- 「箭(15画)」より画数の少ない(5画)「矢」を採用。古典的には「矢」自体が「arrow」の意。  
   　- 現代中国語で「矢」は頻度が高くないが、日本語でも「矢」を「arrow」として認識しやすい。
4. arbalest / 弩 /  
   　- 「弩」はクロスボウ(弩)を直接指す標準的な1文字。画数6画。  
   　- やや使用頻度は低めだが、単独1字で“クロスボウ”を表すには最適。
5. fork / 叉 /  
   　- 「叉子(フォーク)」の略。シンプル(3画)で“分岐する形”の意味合いを持つ。  
   　- 日本語の「叉(また)」とも通じやすく、中国語でも「フォーク」を連想しやすい。
6. pugn / 拳 /  
   　- 「拳(けん)」は「こぶし」を直接表す代表的な漢字。  
   　- 画数は10画だが、「拳头(拳頭)」など中国語でも広く用いられる。
7. vip / 鞭 /  
   　- 「鞭(むち)」の意味を表す標準的な1字。  
   　- 15画とやや多画数だが、「鞭子」としても使われ、意味の連想が容易。
8. kegl / 柱 /  
   　- ボウリングのピン(スキットル)は「柱状のもの」のイメージとして「柱」を転用。  
   　- すでに他でも用いる可能性の高い「木＋主」の構造で、学習コスト削減に寄与。
9. palis / 柱 /  
   　- 杭・棒状の「杭(桩)」も考えられるが、学習コスト軽減のため「柱」を使い回し。  
   　- 同じ「柱」を使っておき、上付き文字や振り仮名で区別予定。
10. timon / 杆 /  
    　- 「かじ棒(車両や船のかじの棒)」→ 中国語で棒状のポールを示す「杆」を選択(7画)。  
    　- 「棍」や「棒」より画数が少なく、汎用的に“棒・竿”を示す語としても使われる。
11. baston / 棍 /  
    　- 「棒・棍棒」のニュアンスが強い「棍」を選定(11画)。  
    　- 「棒(12画)」より少し画数が少なく、打撃用の「棒」のイメージにも合致。
12. stang / 棍 /  
    　- 同じく「棒」の意味なので、「棍」を使い回して学習コストを抑える。  
    　- 上付き文字などで「baston」と区別予定。
13. kapon / 阉鸡 /  
    　- 去勢されたオンドリの意味を中国語で明確に表すには「阉鸡」(「阉=去勢」＋「鸡=鶏」)が一般的。  
    　- 単字では適切な表現が存在しないため、2文字熟語で対応。
14. pedel / 吏 /  
    　- 小役人(案内係など)として「吏(り)」は古くから「官吏・役人」の意をもつシンプルな字(6画)。  
    　- 現代使用頻度は低めだが、簡潔で“下級役人”のニュアンスがある。
15. bub / 童 /  
    　- 「いたずらっ子」のニュアンスを正確に伝えるなら「顽童」だが、1文字化を優先して「童」(12画)を提案。  
    　- “子ども”を示す字として日中ともに理解しやすい。  
    　- 厳密な「やんちゃ」の意味は薄れるが、学習コストの面で単字を採用。
16. dand / 花花公子 /  
    　- 「伊達男・洒落者」に相当する最も一般的な表現。直訳すると“プレイボーイ”にも近い。  
    　- 4文字熟語だが、中国語で「dandy」「fop」をイメージする際に分かりやすい。
17. rekt/angul## / 长方形 /  
    　- エスペラントの「rektangula」は「長方形(矩形)」を意味するため「长方形」を採用(3文字)。  
    　- 「直角」(right angle)との混同を避け、ここでは「rectangle」の意味で確定。
18. romb / 菱形 /  
    　- [数]ひし形に相当。中国語で「菱形」が一般的(2文字)。  
    　- 画数はやや多めだが、幾何用語として定着している。
19. lozanĝ / 菱形 /  
    　- 同じく「lozenge(ひし形)」なので「菱形」に統一。  
    　- 「romb」との重複利用で学習コストを抑える。
20. oval / 椭圆 /  
    　- [数]卵形(楕円)の中国語標準訳が「椭圆」。  
    　- 2文字(「椭」12画＋「圆」10画)で少々多いが、数学用語として定着。
21. konus / 圆锥 /  
    　- [数]円錐を表す「圆锥」(2文字)。  
    　- どちらも学習頻度が高い幾何用語で、意味を直感的につかみやすい。
22. kvadrat / 正方形 /  
    　- [数]正方形を意味する最も一般的な中国語表現。  
    　- 3文字だが、日中ともに「正方形」で通じやすい。
23. kub / 立方体 /  
    　- [数]立方体の標準的中国語訳「立方体」(3文字)。  
    　- 立体幾何の基本用語として学習者にわかりやすい。
24. tri/angul## / 三角形 /  
    　- [数]三角形は中国語で「三角形」。  
    　- 3文字ながらも頻出の図形用語。
25. trapez / 梯形 /  
    　- [数]台形の中国語では「梯形」が標準(2文字)。  
    　- 「台形」は日本語式表現で、中国語での対応は「梯形」となる。
26. parabol / 抛物线 /  
    　- [数]放物線は中国語で「抛物线」が一般的(3文字)。  
    　- 「抛」8画＋「物」5画＋「线」8画。やや多画だが定着度が高い幾何用語。

**paralelogram/平行四边形/標準的な簡体字表現であり、日本語「平行四辺形」ともほぼ一致するため/「平」「行」「四」「边」「形」は汎用性が高く今後も活用しやすい**

**paralel/平行/「平行線」を示す際の簡体字として一般的/「平」「行」は既出であり画数も少なく覚えやすい**

**diagonal/对角线/対角線を指す標準的な簡体字表現/「对」「角」「线」も頻出漢字であり、他分野にも応用可**

**kalkul/计算/「計算」に対応、簡体字で一般的/「计」「算」は他の数詞関連語とも共通し学習コスト低減**

**aritmetik/算术/「算数」に相当する簡体字、意味が分かりやすい/「算」を再利用し、「术」も他分野で頻出**

**subtrah/减/引き算を示す最も簡潔な表現/画数が少なく、中国語圏で広く通用**

**adici/加/足し算を表す最も基本的な漢字/シンプルかつ汎用性が高い**

**multiplik/乘/掛け算を示す標準的な簡体字/「乘法」の略表現としても使われ、比較的覚えやすい**

**simetri/对称/対称を表す一般的な簡体字/「对」「称」は既出・頻出で理解しやすい**

**logaritm/对数/対数を示す標準的な簡体字/「对」「数」は既出で学習コストも低い**

**trigonometri/三角学/三角法・三角学を示す簡体字表現/「三」「角」「学」はいずれも基本的で他でも使用**

**matematik/数学/数学全般を示す簡体字/「数」「学」は関連領域でも再利用度が高い**

**algebr/代数/代数学の通称として一般的/「代」「数」はどちらも高頻度漢字**

**teorem/定理/定理を表す標準的な簡体字/「定」「理」は日本語にも同形で馴染みやすい**

**aksiom/公理/公理を示す簡体字/「公」「理」は既出漢字で覚えやすい**

**ekvaci/方程/方程式の省略形として一般的/「方」「程」は他の式関連でも応用しやすい**

**obl/倍/「…倍」を示す最も直接的な漢字/量的表現で汎用性が高い**

**poligon/多边形/多角形を表す簡体字で定着している/「多」「边」「形」は既出・再利用度が高い**

**plural/复数/文法的複数や数学の複素数を指す場合に広く用いる/「复」「数」は双方に汎用性あり**

**plur/多/「複数の～」を表す簡潔な表現/画数が少なく意味も直感的**

**plur/多/上記と同様、「複数の～」を示す用法で再利用/既出漢字なので追加学習コストゼロ**

**decimal/十进制/十進法を示す標準的な簡体字表現/「十」「进」「制」は他分野でも使われる基礎文字**

**on/分/分数を示す接尾辞(…分の1 等)に対応しやすい/画数が少なく意味も取りやすい**

**frakci/分数/分数を表す簡体字/「分」「数」は既出で学習コストを抑えられる**

**segment/线段/線分の標準的簡体字表現/「线」「段」は日常用語にも登場し認識しやすい**

**tangent/切线/正接(接線)を示す簡体字で一般的/「切」「线」は既出・頻出で学習しやすい**

**kvadratur/求积/求積法を指す簡体字表現/「求」「积」は面積計算関連で再利用可**

### ****1) racional****

提案: 「理」  
理由: 「理」は「道理」「理性」「合理」などの語に使われ、日中双方で「理性的・合理的」のニュアンスを連想しやすい。数学で「有理数」は「有理」(yǒulǐ) と言うが、単独の「理」でも「理性」「合理」という概念に繋がるため割り当て候補とした。  
学習コスト: 画数11画とやや多めだが、非常に汎用性が高く他の多くの語根にも転用しやすい。

### 2) kvocient

提案: 「商」  
理由: 日中の数学用語で「商」は「割り算の結果」「quotient」を直接表すため分かりやすい。  
学習コスト: 画数11画だが、こちらも数学的文脈で頻出のため学習しやすい。

### 3) koeficient

提案: 「系数」  
理由: 中国語で「係数／系数(coefficient)」といえば「系数」が一般的。1文字で「系」だけだと誤解を生む可能性があるため、2文字で提示。  
学習コスト: 「系」(7画)と「数」(13画)の2文字が必要になるが、ともに非常に頻出する漢字であり転用も効きやすい。

### 4) renesanc

提案: 「复兴」  
理由: ルネサンスを中国語では「文艺复兴」と表記するのが一般的。「复兴」だけでも「復興」「再興」の意味合いを汲み取ることができ、比較的シンプル。  
学習コスト: 「复」(9画)と「兴」(6画)の2文字。いずれも頻出度が高く、他の「再興」や「复活」などでも使える。

### 5) reformaci

提案: 「宗教改革」  
理由: 歴史用語として定着している「宗教改革」が最も標準的（簡体字でも同形）。「改革」単独だと世俗的な“reform”に偏るため、宗教的文脈を強調できるこちらを推奨。  
学習コスト: 4文字（宗/教/改/革）とやや増えるが、いずれも他の宗教関連や一般的な政治・社会用語でも使われるため汎用性は比較的高い。

### 6) krist

提案: 「基督」  
理由: 中国語で「キリスト」を指す最も一般的な表現。  
学習コスト: 「基」(11画)と「督」(13画)の2文字。やや多画数だが、キリスト教関連では不可欠。

### 7) jesu

提案: 「耶稣」  
理由: 中国語で「イエス」は「耶稣」が最も通用する表記。  
学習コスト: 「耶」(7画)と「稣」(12画)の2文字。キリスト(基督)とは別の表記なので区別しやすい。

### 8) jezuit

提案: 「耶稣会」  
理由: 「イエズス会」＝「耶稣会(yésūhuì)」。既に「耶」「稣」を使用しているため、それに「会」を組み合わせるだけで済む。  
学習コスト: 新たに「会」(6画)が加わるが、他でも使う可能性大。

### 9) bibli

提案: 「圣经」  
理由: 「聖書」は中国語で「圣经(shèngjīng)」が最も一般的。  
学習コスト: 「圣」(5画)と「经」(7画)の2文字。宗教文脈では頻出。

### 10) evangeli

提案: 「福音」  
理由: 福音書や福音そのものを表す際に中国語で「福音」は定番。  
学習コスト: 「福」(13画)と「音」(9画)の2文字。やや多画数だが、そのまま伝わりやすい。

### 11) eklezi

提案: 「教会」  
理由: 教会(組織)を最も直接的に表す中国語が「教会(jiàohuì)」。  
学習コスト: 「教」(9画)と「会」(6画)。既に「会」は他でも使用予定なので使いまわしが効く。

### 12) sinagog

提案: 「犹太会堂」  
理由: ユダヤ教の礼拝施設は中国語で「犹太会堂」または「犹太教堂」。いずれも4文字だが、これが標準表現。  
学習コスト: 「犹」(7画)「太」(4画)「会」(6画)「堂」(11画)。やや多いが他に適切な短縮は少なく、標準表現を優先。

### 13) kongregaci

提案: 「会众」  
理由: 「(宗教的な)集会の信徒たち」「会衆」にあたる語として、中国語では「会众(huìzhòng)」が分かりやすい。  
学習コスト: 「会」(6画)と「众」(3画)で合わせて2文字。どちらも常用。

### 14) religi

提案: 「宗教」  
理由: 「宗教」は日中ともに同じ表記・同義。「religion」を表す最も標準的な語。  
学習コスト: 「宗」(8画)と「教」(9画)。いずれも他語にも転用しやすい。

### 15) sekt

提案: 「教派」  
理由: 「宗派」を中国語では「教派(jiàopài)」が自然。  
学習コスト: 「教」(9画)と「派」(8画)の2文字。「教」は既出で転用可。

### 16) paroĥ

提案: 「教区」  
理由: カトリックなどの「教区」はそのまま「教区(jiàoqū)」と表記。  
学習コスト: 「教」(9画)と「区」(4画)。すでに「教」は既出なので追加は「区」のみ。

### 17) parok

提案: 「教区」  
理由: 「paroĥ」と同義語として扱われることが多いため同一表記を提案。  
学習コスト: 同上。

### 18) monoteism

提案: 「一神论」  
理由: 「一神論」を中国語で表すときは「一神论(yīshénlùn)」が一般的。  
学習コスト: 「一」(1画)「神」(9画)「论」(4画)。神/论はいずれも宗教・思想関連で使い回しが可能。

### 19) politeism

提案: 「多神教」  
理由: 「多神教」は中国語でも「多神教(duōshénjiào)」と書くのが一般的。  
学習コスト: 「多」(6画)「神」(9画)「教」(9画)。すでに「神」「教」は重複利用しやすい。

### 20) katolik

提案: 「天主教」  
理由: カトリック(教会)は中国語で「天主教(tiānzhǔjiào)」が定訳。末尾に「徒」を付ける場合は「天主教徒」。  
学習コスト: 「天」(4画)「主」(5画)「教」(9画)の3文字構成。

### 21) puritan

提案: 「清教徒」  
理由: ピューリタンは中国語で「清教徒(qīngjiàotú)」が一般的。  
学習コスト: 「清」(11画)「教」(9画)「徒」(10画)。やや画数多めだが歴史的用語として定着。

### 22) pilgrim

提案: 「朝圣」  
理由: 巡礼・巡礼する行為は中国語で「朝圣(cháoshèng)」。巡礼者なら「朝圣者」。  
学習コスト: 「朝」(12画)と「圣」(5画)。宗教文脈で用いられる語。

### 23) preĝ

提案: 「祈祷」  
理由: 「祈る」「祈り」は「祈祷(qídǎo)」が最も一般的（「祷告」も同義だが、字面が似ているので「祈祷」を優先）。  
学習コスト: 「祈」(8画)と「祷」(10画)。

### 24) kult

提案: 「礼拜」  
理由: 宗教的礼拝・崇拝の意味を持ち、「礼拜(lǐbài)」は中国語では「週」「日曜礼拝」などにも使われるが、キリスト教的な礼拝(集会)としても非常に一般的。「崇拜」(chóngbài)も候補だが画数が多いため今回は「礼拜」。  
学習コスト: 「礼」(5画)と「拜」(8画)。ともに礼儀関連で汎用性がある。

### 25) liturgi

提案: 「礼仪」  
理由: 「liturgy（典礼・礼拝式）」に対応する中国語として「礼仪(lǐyí)」が使われることがある。カトリック文献でも「礼仪」(典礼)の語が出現。  
学習コスト: 「礼」(5画)と「仪」(5画)。短く収まりが良い。

### 26) orden

提案: 「勋章」  
理由: 勲章・叙勲等を中国語では「勋章(xūnzhāng)」。騎士団的な「～の勲位」を表す場合も、装飾章として「勋章」が分かりやすい。  
学習コスト: 「勋」(9画)と「章」(11画)。やや多いが、他に広く使える「章」は便利。

### 27) bapt

提案: 「洗礼」  
理由: 洗礼・バプテスマを中国語で「洗礼(xǐlǐ)」と言うのが一般的。  
学習コスト: 「洗」(9画)と「礼」(5画)。すでに「礼」は他でも使用している。

### ****1) konsekr****

1. エスペラント語根: konsekr
2. 提案する簡体字(熟語): 祝圣
3. 選定理由・根拠
   * 中国語で「聖別する・聖職に任じる」などの文脈では、「祝圣(zhùshèng)」という表現が実際に使われる（司教の叙階式などで「祝圣礼」という）
   * 「祝」は「祈り・願う」ニュアンスが強く、「圣」は「神聖」の意。ともに宗教的な“奉献・聖別”イメージに合致する
4. 学習コストに関する考察
   * 「祝」(9画)と「圣」(5画)の2文字は比較的画数が多くない部類
   * 後述の「sankt」でも「圣」を流用するので、重複利用で覚えやすくなる

### 2) anunciaci

1. エスペラント語根: anunciaci
2. 提案する簡体字(熟語): 报
3. 選定理由・根拠
   * 「受胎告知(Annunciation)」は本来「天使报喜(天使が喜びを告げる)」などと言うが、単独1文字で厳密に対応する漢字は存在しない
   * そこで「知らせる・報せる」の意が強い「报(報)」をあて、上付きなどで「(聖母への)受胎告知」の意味を区別する
4. 学習コストに関する考察
   * 新規1文字「报」(7画)のみ
   * 今後「知らせる」「告知する」系の語根があれば流用できる可能性が高い

### 3) epifani

1. エスペラント語根: epifani
2. 提案する簡体字(熟語): 主显节
3. 選定理由・根拠
   * 「主顕節(Epiphany)」は中国語カトリック用語で「主显节」と表記するのが一般的
   * 「主(しゅ)」「显(あらわ)」「节(まつり/フェスティバル)」で「主(キリスト)が現れる祭り」の意
4. 学習コストに関する考察
   * 「主」(5画)・「显」(9画)・「节」(5画)の3文字
   * 「节」は後続の「pentekost」「pask」など複数の宗教祭日に再利用できる見込みがあるため、やや増えてもメリットが大きい

### 4) pentekost

1. エスペラント語根: pentekost
2. 提案する簡体字(熟語): 五旬节
3. 選定理由・根拠
   * 「聖霊降臨祭(Pentecost)」は中国語では「五旬节(Wǔxúnjié)」が定訳
   * 「五十日目の祭り」という語源に対応している
4. 学習コストに関する考察
   * 新たに「五」(4画)と「旬」(6画)を導入するが、「节」は再利用文字

### 5) pask

1. エスペラント語根: pask
2. 提案する簡体字(熟語): 复活节
3. 選定理由・根拠
   * 「復活祭(Easter)」の中国語は「复活节(Fùhuójié)」が一般的
   * 「逾越节(Passover)」の意味合いも含むが、こちらの方が頻度が高い
4. 学習コストに関する考察
   * 新規文字は「复」(9画)と「活」(9画)の2つだが、「节」は既出

### 6) advent

1. エスペラント語根: advent
2. 提案する簡体字(熟語): 降临节
3. 選定理由・根拠
   * 「降臨節(Advent)」はカトリック・プロテスタントともに「将临期」や「降临期」など様々だが、「降临节」も通じる
   * 「降(くだ)る＋临(のぞ)む＋节(祭)」で“主が来られる時期”を端的に示す
4. 学習コストに関する考察
   * 「降」(10画)、「临」(9画)は新規だが、「节」は再利用できるため妥協

### 7) kruc

1. エスペラント語根: kruc
2. 提案する簡体字(熟語): 十
3. 選定理由・根拠
   * 「十字架」を完全に表すなら「十字架」の3文字だが、学習コスト削減のため\*\*1文字「十」\*\*のみで“十字の形”を連想
   * キリスト教の「クロス」を示すには簡潔すぎるが、上付き文字や振り仮名で区別可能とする
4. 学習コストに関する考察
   * 画数2画の非常にシンプルな文字で、他語根（例: 数字の10など）とも重複利用できる可能性が高い

### 8) krucifiks

1. エスペラント語根: krucifiks
2. 提案する簡体字(熟語): 十
3. 選定理由・根拠
   * 本来なら「十字架像」「苦像」などが中国語で用いられるが、シンプルさを最優先
   * 「kruc(十)」と同一文字にし、上付き等で「キリスト像付きの十字架(=crucifix)」を区別
4. 学習コストに関する考察
   * 新規漢字ゼロ。既出「十」の転用

### 9) hosti

1. エスペラント語根: hosti
2. 提案する簡体字(熟語): 圣体
3. 選定理由・根拠
   * カトリックで「聖体(=Eucharistic bread/Host)」を指す際、「圣体(shèngtǐ)」と呼ぶことが多い
   * 「面饼(パン)」などの普通名詞ではなく、宗教的意義のある「圣体」の方が適切
4. 学習コストに関する考察
   * 「圣」は既出。「体」(7画)のみ新規

### 10) komuni

1. エスペラント語根: komuni
2. 提案する簡体字(熟語): 圣餐
3. 選定理由・根拠
   * 「聖餐式(Holy Communion)」は中国語で一般に「圣餐(shèngcān)」
   * 「圣体拝領」など別表現もあるが、最もわかりやすいのは「圣餐」
4. 学習コストに関する考察
   * 「圣」は既出、「餐」(15画)はやや画数多いが、中国語圏では頻出語彙

### 11) eŭkaristi

1. エスペラント語根: eŭkaristi
2. 提案する簡体字(熟語): 圣体
3. 選定理由・根拠
   * 「エウカリスティア(Eucharist)」も「圣餐」とほぼ同義だが、カトリックでは「圣体」と呼ぶケースも多い
   * #9「hosti(聖体パン)」と重複するが、上付き等で区別
4. 学習コストに関する考察
   * 新規漢字なし。「圣」「体」は既出

### 12) kobold

1. エスペラント語根: kobold
2. 提案する簡体字(熟語): 妖
3. 選定理由・根拠
   * 「(いたずらな)妖精」「小鬼」「ゴブリン」など多義だが、1文字なら「妖」が最も分かりやすい
   * 厳密には「妖精」「妖怪」など2文字以上が自然だが、単独文字を優先
4. 学習コストに関する考察
   * 「妖」(7画)を今後「gnom」「elf」「fe」などにも流用予定

### 13) gnom

1. エスペラント語根: gnom
2. 提案する簡体字(熟語): 妖
3. 選定理由・根拠
   * 「地の精(gnome)」だが、1文字で地霊を表す漢字がないため「妖」に一本化
   * 地下の精霊かつ小柄な妖精イメージで、上付き等で区別すれば可
4. 学習コストに関する考察
   * 追加の新規なし。「妖」を再利用

### 14) anĝel

1. エスペラント語根: anĝel
2. 提案する簡体字(熟語): 天使
3. 選定理由・根拠
   * 「天使(angel)」は中日ともに馴染みのある2文字表記
   * 1文字「天」だけでは「空・天候・天空」の意味が強すぎる
4. 学習コストに関する考察
   * 「天」(4画)と「使」(8画)を新規導入

### 15) elf

1. エスペラント語根: elf
2. 提案する簡体字(熟語): 妖
3. 選定理由・根拠
   * 「妖精(elves)」の一種として「kobold」「gnom」とまとめて「妖」に集約
   * 細かい差異は上付き文字や振り仮名で区別
4. 学習コストに関する考察
   * 既出の「妖」を再利用

### 16) fe

1. エスペラント語根: fe
2. 提案する簡体字(熟語): 妖
3. 選定理由・根拠
   * 「妖精(fairy)」を単独1文字に押し込む場合は「妖」が最もベースに近い
   * “精”もあり得るが画数(14画)が多めなので単純化
4. 学習コストに関する考察
   * 重複利用のため追加負担なし

### 17) monstr

1. エスペラント語根: monstr
2. 提案する簡体字(熟語): 怪
3. 選定理由・根拠
   * 「怪物(monster)」の省略形として「怪」を使い、上付きなどで“モンスター”と区別
   * 「妖」でも代用可能だが、「怪物」は日中ともに「怪」「怪物」なので分かりやすい
4. 学習コストに関する考察
   * 新規「怪」(8画)1字のみ

### 18) fantom

1. エスペラント語根: fantom
2. 提案する簡体字(熟語): 鬼
3. 選定理由・根拠
   * 「幽霊(ghost, phantom)」の最も直接的な1文字は「鬼」
   * 「幽灵」等もあるが2文字になるため省略
4. 学習コストに関する考察
   * 新規「鬼」(9画)1字追加

### 19) diabl

1. エスペラント語根: diabl
2. 提案する簡体字(熟語): 魔
3. 選定理由・根拠
   * 「悪魔(devil)」を1文字で表すなら「魔」が定番
   * 「邪」や「鬼」とはニュアンスが異なり、より強い“魔性・サタン的”含み
4. 学習コストに関する考察
   * 新規「魔」(やや画数多め)を導入するが、「demon」(#20)など他でも流用可

### 20) demon

1. エスペラント語根: demon
2. 提案する簡体字(熟語): 魔
3. 選定理由・根拠
   * 「悪霊(demon)」も「悪魔(devil)」に近い概念で、1文字「魔」に集約
   * 区別は上付き文字で調整
4. 学習コストに関する考察
   * 追加負担なし。既出「魔」を再利用

### 21) furi

1. エスペラント語根: furi
2. 提案する簡体字(熟語): 怒神
3. 選定理由・根拠
   * 「復讐の女神(Fury)」を端的に示す単語は1文字では無理。ギリシア神話的ニュアンスで「怒れる神」＝「怒神」
   * 厳密には「女神」を強調したければ「怒女神」だが、字面の簡潔さを優先
4. 学習コストに関する考察
   * 「怒」(9画)と「神」(9画)の2文字だが、「神」は後述「di(#25)」でも使用予定

### 22) paradiz

1. エスペラント語根: paradiz
2. 提案する簡体字(熟語): 天国
3. 選定理由・根拠
   * 「天国(paradise, heaven)」を示す短い語として「天国」が自然
   * 「天堂」も一般的だが「堂」(11画)より「国」(8画)の方が今後転用されやすい
4. 学習コストに関する考察
   * 新規「国」(8画)1字追加。すでに「天」は#14で使用済み

### 23) eden

1. エスペラント語根: eden
2. 提案する簡体字(熟語): 伊甸
3. 選定理由・根拠
   * 「エデンの園(Garden of Eden)」は中国語で「伊甸园」だが、より短縮して「伊甸」と呼ぶ場合もある
   * 1文字化はほぼ不可能なので2文字で妥協
4. 学習コストに関する考察
   * 新たに「伊」(6画)と「甸」(7画)を導入

### 24) sankt

1. エスペラント語根: sankt
2. 提案する簡体字(熟語): 圣
3. 選定理由・根拠
   * 「神聖な, 聖なる(sacred, holy)」を最も直接に示す1文字は「圣」(繁体: 聖)
   * すでに#1「konsekr」で用いた「祝圣」の「圣」と同じ
4. 学習コストに関する考察
   * 重複利用のため追加負担なし

### 25) di

1. エスペラント語根: di
2. 提案する簡体字(熟語): 神
3. 選定理由・根拠
   * 「神(Deity)」を表す標準的な漢字が「神」
   * 万能的な“神一般”の意味を担う
4. 学習コストに関する考察
   * #21「furi(怒神)」ですでに「神」を導入済み

### 26) Di##

1. エスペラント語根: Di##
2. 提案する簡体字(熟語): 天主
3. 選定理由・根拠
   * 一神教の「唯一神(God)」を中国語カトリックでは「天主」と表す場合が多い(プロテスタントは「上帝」)
   * 既存の「天」+「主」で新たな文字を増やさず表現可能
4. 学習コストに関する考察
   * 追加負担ゼロ。すでに #14 などで「天」、#3 で「主」を使用済み

### 27) diakon

1. エスペラント語根: diakon
2. 提案する簡体字(熟語): 执事
3. 選定理由・根拠
   * 「助祭・執事(deacon)」にあたる中国語は、カトリックでも「执事(zhíshì)」や「助祭」などが用いられる
   * 「执事」の方が画数が比較的抑えめ(「辅祭」などもあるが似たような画数)
4. 学習コストに関する考察
   * 「执」(6画)と「事」(8画)の計2文字を新規導入するが、他で転用しやすい「事」(物事の事)を含む点は利点

orakol

* + 提案: 神谕
  + 理由: 「神谕」は「神の託宣＝オラクル」の意味として中国語で一般的な表現。日本語話者にも「神(神)＋諭(訓戒・教え)」という漢字構成で「神託」に近い意味を連想しやすい。
  + 学習コスト:
    - 新出漢字は「神(しん)」「谕(ゆ)」。どちらも比較的常用度は高めだが、「谕」はやや専門的。とはいえ二文字熟語ゆえ十分実用的。

1. providenc
   * 提案: 天意
   * 理由: 中国語で「天意」は「天(神・天)の思し召し＝神の摂理」を指す表現として定着している。日本語でも「天の意＝神の摂理」のイメージをとらえやすい。
   * 学習コスト:
     + 新出漢字「天(てん)」「意(い)」。いずれも頻出漢字であり、今後も転用しやすい。
2. altar
   * 提案: 坛
   * 理由: 「坛(壇)」は簡体字で「祭壇」「壇」を意味する常用字。日本語圏も「壇」の字形でおおむね連想可能。
   * 学習コスト:
     + 新出漢字「坛(だん)」。7画程度でそこまで煩雑ではない。
3. maŭzole
   * 提案: 陵
   * 理由: 「陵」は中国語で「皇帝や貴人などの大規模な墓所・陵墓」を意味し、マウソレウムに近い。日本語でも「○○陵」と言えば帝・皇族の大規模墓所を指すので意味を推測しやすい。
   * 学習コスト:
     + 新出漢字「陵(りょう)」。画数は10画とそこそこだが、中国語における用例は多い。
4. pagod
   * 提案: 塔
   * 理由: 「塔」は「仏塔」「塔(とう)」として日中双方で通じる単漢字。単に“塔”といえば中国語で「pagoda型の塔」を思い浮かべやすい。
   * 学習コスト:
     + 新出漢字「塔(とう)」。12画だが、日本語でもおなじみ。
5. katedral
   * 提案: 大教堂
   * 理由: 中国語では「大教堂」はカテドラル＝「大聖堂」に相当する一般的呼称。日本語圏も「大教堂→大聖堂」と容易に推測可。
   * 学習コスト:
     + 新出漢字: 「大(だい)」「教(きょう)」「堂(どう)」。いずれも常用度が高い。
6. moske
   * 提案: 清真寺
   * 理由: 中国語で「清真寺」はイスラム教の礼拝施設(モスク)を指す定訳。日本語でも「清真(イスラム)＋寺(寺)」と見れば推測しやすい。
   * 学習コスト:
     + 新出漢字「清(せい)」「真(しん)」「寺(じ)」。三文字だが、いずれも頻出。
7. templ
   * 提案: 寺庙
   * 理由: 「寺庙」は中国語で一般的に「お寺・神仏の庙」を含む広義の「寺院」を指す表現。日本語でも「寺(てら)＋廟(びょう)」で寺院全般をイメージ可能。
   * 学習コスト:
     + 新出漢字「庙(びょう)」。すでに「寺」は登場済み。
8. kript
   * 提案: 地下堂
   * 理由: 厳密な定訳は「地下教堂」「地下室(墓室)」など色々あるが、画数と既出漢字の兼ね合いから「地(＋下)＋堂(礼拝空間)」で「地下の礼拝空間」と意図。やや直訳的だが意味は伝わりやすい。
   * 学習コスト:
     + 新出漢字「地(ち)」「下(か)」。すでに「堂(どう)」は登場。
9. sakristi

* 提案: 圣具室
* 理由: 「聖具室」「圣器室」などが候補。簡体字で画数を抑えるため「圣具室」を提案。「聖具＝祭具」「室＝部屋」で「聖具を置く部屋」というニュアンス。
* 学習コスト:
  + 新出「圣(せい)」「具(ぐ)」「室(しつ)」。いずれも今後転用可能性あり。

1. sakrament

* 提案: 圣礼
* 理由: 「圣餐」は“聖餐式”に限定されがちなので、より広義の「聖なる礼典」=「圣礼」が「秘跡」(サクラメント)全般に近い表現。
* 学習コスト:
  + 「圣」は既出（上記10と同じ）。「礼(れい)」のみ新出で5画と少なめ。

1. kapucen

* 提案: 未対応
* 理由: 「カプチン会修道士」は中国語だと「嘉布遣会士」など複数表記・長い音訳が必要で、1～2文字で収めるのは難しい。学習コストも大きいため見送り。

1. legat

* 提案: 教皇使
* 理由: 中国語で正式には「教皇特使」だが、1文字減らして「特」を省略することで新出漢字を少し抑制。「教皇の使者→教皇特使」というイメージは通じる。
* 学習コスト:
  + 新出「皇(こう)」「使(し)」。既出「教」。

1. nunci

* 提案: 教皇大使
* 理由: 「教皇の大使」=「Nuncio（教皇大使）」。すでに「教」「皇」「大」「使」は全て登場済みなので新規なし。
* 学習コスト:
  + 追加負担なし。

1. kancelier

* 提案: 大法官
* 理由: 中国語で「大法官」は「首席裁判官/大法官(Chancellor)」の意に近い。
* 学習コスト:
  + 新出「法(ほう)」「官(かん)」。どちらも常用度高い。

1. kardinal

* 提案: 红衣主教
* 理由: 中国語で「枢机卿」に相当する一般的名称が「红衣主教」。赤い衣をまとう主教という分かりやすい呼称。
* 学習コスト:
  + 新出「红(こう)」「衣(い)」「主(しゅ)」。既出「教」。

1. kanonik

* 提案: 教会参事
* 理由: 「教会参事会員(Canon)」の直訳で「教会参事」。正確には「教会参事会員」だが、やや長いので最後の「会員」を省き、ニュアンスを残した。
* 学習コスト:
  + 新出「会(かい)」「参(さん)」「事(じ)」。既出「教」。

1. prior

* 提案: 修道院长
* 理由: 中国語では「修道院(小修道院)の長」を直訳するなら「修道院院长」などが自然。簡略して「修道院长」。
* 学習コスト:
  + 新出「修(しゅう)」「道(どう)」「院(いん)」「长(ちょう)」。4文字とやや多いが、修道関連で再利用の可能性あり。

1. abat

* 提案: 院长
* 理由: 「修道院長」の意。「prior」と似ているが、より大規模修道院の長を指すなら「院长」単独でも十分「Abbot」として機能。
* 学習コスト:
  + 「院」「长」はすでに(18)で登場済み。

1. vikari

* 提案: 助理牧师
* 理由: Protestant寄りだが、中国語で「助理牧师」は「補佐・助任の聖職者」として通じる。Catholicなら「助理司铎」等もあるが画数が増える。
* 学習コスト:
  + 新出「助(じょ)」「理(り)」「牧(ぼく)」「师(し)」。4文字増加は大きいが、ほかの宗教職にも転用されやすい基本漢字。

1. apostol

* 提案: 使徒
* 理由: 中国語で「使徒」は定訳。日本語も同じく「使徒」で直感的に分かりやすい。
* 学習コスト:
  + 「使」は既出。新出「徒(と)」のみ。

1. episkop

* 提案: 主教
* 理由: 中国語で「Bishop(司教)」は「主教」が一般的。すでに「主」「教」は導入済み。
* 学習コスト:
  + 追加なし。

1. sacerdot

* 提案: 神父
* 理由: カトリック文脈で「司祭」は「神父」。プロテスタントとは異なるが簡潔で分かりやすい。
* 学習コスト:
  + 新出「父(ふ)」。既出「神」。

1. pastr

* 提案: 牧师
* 理由: 一般的な「牧師／聖職者」をイメージしやすい。「牧师」はプロテスタント系だが、中国語では「聖職者」全般のように使われる場合も多い。
* 学習コスト:
  + 「牧」「师」は(20)で既出。

1. monaĥ

* 提案: 修士
* 理由: カトリック系の「修道士」を示す際に用いられる「修士」。仏教文脈なら「僧」だが、キリスト教系でも「修士」と呼ぶので汎用。
* 学習コスト:
  + 新出「士(し)」。すでに「修」は(18)で出現。

1. monak

* 提案: 修士
* 理由: 25と同義。同じ「修道士」なので同じ「修士」を再利用。
* 学習コスト:
  + 追加なし。

1. novic

* 提案: 见习修士
* 理由: 「修練士＝まだ正式発願前の修道士見習い」を中国語で表すなら「见习修士」が比較的通じやすい。
* 学習コスト:
  + 新出「见(けん)」「习(しゅう)」。すでに「修」「士」は既出。

1. katekist
   * 提案: 传教士
   * 選定理由: 「伝道師」「宣教師」を表す標準的な簡体字表現として「传教士」が一般的。日本語話者にも「伝教士」として意味が連想しやすい。
   * 学習コスト: 「传」「教」「士」はいずれも頻出漢字であり、今後別の語根でも「教」「士」などを流用可能。
2. kateĥist
   * 提案: 传教士
   * 選定理由: 上記「katekist」と同義のため同一の割当。
   * 学習コスト: すでに割当済みの文字を再利用するため新たな学習負担はない。
3. urin
   * 提案: 尿
   * 選定理由: 「排尿・尿」を表す最も直接的な1文字。日本語の「尿」、中国語の「尿」と同形同義。
   * 学習コスト: 画数は8画とやや多めだが、よく使用される医学用字。単字のため追加負担は比較的小さい。
4. sekreci
   * 提案: 分泌
   * 選定理由: 生物学・医学用語として「分泌」が一般的。1文字の「泌」単独はやや専門的で使いづらいため、2文字熟語で確実に意味を伝える。
   * 学習コスト: 「分」は頻出漢字、「泌」は医学用語として出現するが他の分野でも見られる。2文字だが理解しやすさを優先。
5. ekskrement
   * 提案: 粪
   * 選定理由: 簡体字で「糞」を表すのは「粪」。大便などの2文字熟語もあるが、「粪」のほうが直接的。
   * 学習コスト: 新出漢字ではあるが、他の常用字と画数・部首を大きく共有していないため、一度覚えてしまえばシンプル。
6. sang
   * 提案: 血
   * 選定理由: 血液を指すもっとも基本的かつ常用度の高い1文字。「血」は日中で同形同義。
   * 学習コスト: 画数6画と比較的少なく、幅広く使われる漢字。
7. sperm
   * 提案: 精
   * 選定理由: 中国語で「精液」を略して「精」と表すことがあり、また「精」には「エッセンス/本質」の意味もあるため汎用性が高い。
   * 学習コスト: 「精」は日本語でも「精力」などで馴染みがあり、覚えやすい。
8. uter
   * 提案: 子宫
   * 選定理由: 中国語で子宮は「子宫」が標準的。1文字「宫」だと「宮殿」の意味合いが強く誤解されやすい。
   * 学習コスト: 「子」「宫」いずれも常用度が高い。今後ほかの単語で「子」や「宫」を再利用できる可能性あり。
9. testik
   * 提案: 睾丸
   * 選定理由: 標準医学用語として「睾丸」が最も代表的。1文字のみで「睾」や「丸」とすると意味が曖昧になるため、2文字熟語を採用。
   * 学習コスト: 「睾」はやや画数多めだが医学関連では頻出。「丸」は画数が少なく他の語でも使い回し可能。
10. ren

* 提案: 肾
* 選定理由: 腎臓の簡体字表記は「肾」。日本語の「腎」と対応し、意味も把握しやすい。
* 学習コスト: 画数は月(肉月)＋臣の組み合わせで、部首「月」は他の臓器名でも多く再利用される。

1. hepat

* 提案: 肝
* 選定理由: 肝臓の簡体字および日本語表記の常用漢字と同形。「肝要」のように一般用語でも使われる。
* 学習コスト: 画数4画で少なく、覚えやすい。

1. gal

* 提案: 胆
* 選定理由: 胆汁を表す最も直接的な1文字（繁体字「膽」の簡体）。日本語でも「胆石」「胆力」などに用いる。
* 学習コスト: 画数9画。臓器や気概などでも使われ、覚える価値あり。

1. lien

* 提案: 脾
* 選定理由: 脾臓の中心漢字。日本語「脾臓」、中国語「脾脏」いずれも「脾」を用いる。
* 学習コスト: 月(肉月)偏を含むため、他の臓器名と共通要素あり。

1. peritone

* 提案: 腹膜
* 選定理由: 医学用語として「腹膜」が定着。1文字での対応は困難。
* 学習コスト: 「腹」「膜」いずれも日常語ではやや専門的だが、身体部位や生物用語で頻出する組み合わせ。

1. ezofag

* 提案: 食管
* 選定理由: 中国大陸の医学用語では「食管」が標準的。日本語「食道」に相当するが、中国語では「管」が主流。
* 学習コスト: 「食」「管」は常用漢字。「管」は後述の「気管」や「支气管」などとも共通し、再利用度が高い。

1. intest

* 提案: 肠
* 選定理由: 腸を表す簡体字は「肠」。日本語表記「腸」とほぼ同義・同形(簡化のみ)。
* 学習コスト: 月(肉月)偏＋“场”に似た形で、臓器名としてわかりやすい。

1. ventr

* 提案: 腹
* 選定理由: 腹部を表すもっとも直接的な1文字。日本語でも「腹」「お腹」の漢字。
* 学習コスト: 常用漢字で画数も少なめ(13画)。ほかの用語(腹膜など)でも再使用可能。

1. stomak

* 提案: 胃
* 選定理由: 胃を示す最も代表的な1文字で、日中共に同じ形を使う。
* 学習コスト: 画数9画で比較的覚えやすい。意味も限定的で混乱が少ない。

1. pulm

* 提案: 肺
* 選定理由: 肺を表す簡体字・繁体字・日本語いずれも同形。
* 学習コスト: 月(肉月)偏使用。臓器名系列で共通イメージがつかみやすい。

1. traĥe

* 提案: 气管(※簡体では“气管”)
* 選定理由: 「気管」を意味する最も一般的な2文字熟語。簡体字では「气管」。
* 学習コスト: 「气/氣」は頻出文字。「管」は#15などとも共通するので再利用価値が高い。

1. bronk

* 提案: 支气管
* 選定理由: 「支気管」の定訳。「支」は「支える／枝分かれ」などの意味から連想しやすい。
* 学習コスト: 「支」「气」「管」といずれも基本的な漢字。#20「气管」を拡張した形で覚えやすい。

1. vejn

* 提案: 静脉
* 選定理由: 「静脈」を表す最も一般的な2文字。「脉」は脈(みゃく)、「静」は静かなどの意味で日中共通理解がしやすい。
* 学習コスト: 「静」「脉」それぞれ比較的よく使われる漢字。血管系の用語として「动脉」(#23)とも対比しやすい。

1. arteri

* 提案: 动脉
* 選定理由: 動脈に相当。静脈(#22)とセットで把握しやすい。
* 学習コスト: 「动」は運動・活動など、多方面で再利用可能。「脉」は静脈と同じ字で学習負担を削減。

1. aort

* 提案: 主动脉
* 選定理由: 大動脈を中国語では「主动脉」と表すのが標準的。「大动脉」とも言うが医学的には「主动脉」がより正式。
* 学習コスト: 既出の「动」「脉」に加え「主」は非常に基本的な字で学習しやすい。

1. difteri

* 提案: 白喉
* 選定理由: ジフテリアの中国語名称は「白喉」。日本語でも「白喉」と書く場合がある。
* 学習コスト: 「白」は基礎漢字、「喉」は「口」＋「侯」の組み合わせで発音器官を連想しやすい。

1. difterit

* 提案: 白喉
* 選定理由: difteriと同義であるため同様に「白喉」を割り当て。
* 学習コスト: 既出のため新たな負担なし。

1. erizipel

* 提案: 丹毒
* 選定理由: 丹毒の中国語名は「丹毒」。日本語でも「丹毒」といい、対応がわかりやすい。
* 学習コスト: 「丹」「毒」は画数も少なく比較的学習しやすい。

tif

* + 提案: 斑疹伤寒
  + 理由: 中国語で「typhus」に対応する標準的名称は「斑疹伤寒」(簡体字)。ただしやや長め(4文字)ではあるが、病名としては一般的。
  + 学習コスト:
    - 「斑」「疹」「伤」「寒」はそれぞれ比較的よく使われる偏旁を含むが、4文字の熟語となるため少し長い。ただ、正確な病名としてはこの形が最も通じやすい。

1. sifilis
   * 提案: 梅毒
   * 理由: 「梅毒」は日中ともに共通かつ代表的な呼称。
   * 学習コスト:
     + 2文字熟語。「梅」はやや画数(11画)が多いが、「毒」は8画で比較的覚えやすい組み合わせ。
2. hidrofobi
   * 提案: 恐水
   * 理由: 「恐水症／恐水病」の略。中国語でも「恐水症」は「狂犬病(rabies)」に付随する症状として用いられる場合がある。2文字で簡潔。
   * 学習コスト:
     + 「恐」は10画、「水」は4画。どちらも初級～中級レベルでよく目にする漢字。
3. hipertrofi
   * 提案: 肥大
   * 理由: 「肥大」は中国語でも「肥大」と書き、医学用語として「肥大化」を示す際に使用。
   * 学習コスト:
     + 2文字かつ比較的簡単。「肥」(8画)・「大」(3画)ともに頻出。
4. katarakt
   * 提案: 白内障
   * 理由: 白内障の標準的な中国語表記も「白内障」。日中ともに通じる。
   * 学習コスト:
     + 3文字だが病名としては定着。「内」「障」は他の熟語にも転用可能。
5. diabet
   * 提案: 糖尿病
   * 理由: 「糖尿病」が最も一般的で分かりやすい。
   * 学習コスト:
     + 3文字(「糖」「尿」「病」)いずれも汎用性が高く、医学用語としても周知されている。
6. plik
   * 提案: 纠发病
   * 理由: 「plica(polonica)」=「髪の毛が固まる/絡み合う病変」を直訳的に「纠(絡まる) + 发(髪) + 病(病)」で表現。正式な一般名称は少ないが、意味が推測しやすい。
   * 学習コスト:
     + 「纠」(6画)と「发」(5画)は比較的基本的な偏旁だが、合わせて造語感がやや強い。
7. kal
   * 提案: 胼胝
   * 理由: 「胼胝(タコ)」は日中共通の医学用語。
   * 学習コスト:
     + 2文字ともやや画数多め(「胼」10画、「胝」9画)だが医学用語としては比較的定着している。
8. fav
   * 提案: 黄癣
   * 理由: 「favus」は中国語で「黄癣」と呼ぶことがある。ringwormの一種。「癣」単独でも皮膚真菌症全般を指すが、「黄癣」で特に頭部などのfavusを示す。
   * 学習コスト:
     + 2文字(「黄」11画＋「癣」12画)とやや多いが、病名としては伝わりやすい。
9. skrofol

* 提案: 瘰疬
* 理由: 「るいれき(瘰疬)」はリンパ節結核(スロフラ)の旧称として有名。
* 学習コスト:
  + 2文字とも画数が多め(「瘰」15画、「疬」7画)で難度は高い。頻出しないため学習コストはやや大きい。

1. skabi

* 提案: 疥疮
* 理由: scabies(疥癬)は中国語で「疥疮」が標準表記。
* 学習コスト:
  + 2文字(「疥」7画、「疮」9画)。皮膚病関連でほかにも使う偏旁「疒(やまいだれ)」が含まれる。

1. furunk

* 提案: 疖
* 理由: 「furuncle(癤/疖)」＝「小さい腫れもの(おでき)」。1文字の「疖」で表せる。
* 学習コスト:
  + 「疖」は7画。「疒(病の偏旁)」＋「折」構成なので偏旁再利用もしやすい。

1. pips

* 提案: 鸟舌病
* 理由: 鳥の「舌」に起因する病(英語pip)を直訳的に表現。「禽舌病」などの表記例も考えられるが、こちらはより一般的な「鳥(鸟)」を用いた。
* 学習コスト:
  + 「鸟」(5画)、「舌」(6画)、「病」(10画)。3文字だが、いずれも基本漢字。

1. tuberkul

* 提案: 结节
* 理由: 「結節」は中国語で「结节」と書き、医学用語でも広く用いられる(“tubercle”に相当)。
* 学習コスト:
  + 2文字(「结」7画、「节」7画)。すでに別の文脈(「节日」など)でも使われやすい部首を含む。

1. fistul

* 提案: 瘘
* 理由: 「瘘(ろう)」は「瘻孔／瘻管」等を示す際に用いる単字。「瘘管」として2文字化も可能だが、単字でも通じる。
* 学習コスト:
  + 13画とやや多いが、1文字で「瘻孔／瘻管」を表せるのは利点。

1. pustul

* 提案: 脓疱
* 理由: pustule(膿疱)に対応する一般的な表現は「脓疱」。
* 学習コスト:
  + 2文字(「脓」10画＋「疱」8画)。「疒(やまいだれ)」＋「包」から成るため、部分的な偏旁再利用もありうる。

1. tetan

* 提案: 破伤风
* 理由: tetanus(破傷風)に対応する標準的表記が「破伤风」。
* 学習コスト:
  + 3文字(「破」10画、「伤」6画、「风」4画)。中国語ではよく使われる組み合わせ。

1. katalepsi

* 提案: 强直
* 理由: catalepsy(強硬症/カタレプシー)の核心症状が「強直状態」であるため、中国語で「强直(状态)」などと略すことがある。
* 学習コスト:
  + 2文字(「强」12画、「直」8画)で、どちらも頻度は比較的高め。

1. herni

* 提案: 疝
* 理由: herniaを表す簡体字は「疝」または「疝气」。1文字「疝」でも「ヘルニア」の意味を指すのに用いられる。
* 学習コスト:
  + 7画と比較的シンプル。「疒」部首なので病名再利用の際に学習負担を下げやすい。

1. ŝankr

* 提案: 下疳
* 理由: chancre(下疳)は中国語でも「下疳」と書く(性病に伴う潰瘍)。
* 学習コスト:
  + 2文字(「下」3画、「疳」7画)。既出の「疒(やまいだれ)」の再利用。

1. ulcer

* 提案: 溃疡
* 理由: 中国語で「潰瘍」は「溃疡」表記。ulcer全般に対応。
* 学習コスト:
  + 2文字だがやや画数多め(「溃」13画、「疡」9画)。医学用語としては標準。

1. kolik

* 提案: 绞痛
* 理由: 「colic」は中国語で「绞痛(きょうつう)」が最も一般的(“疝痛”は古めかしい表現で、現代標準から少し外れる)。
* 学習コスト:
  + 2文字(「绞」9画＋「痛」10画)。痛みを示す「痛」は他の病名にも応用可能。

1. piroz

* 提案: 烧心
* 理由: heartburn(胸やけ)は中国語で「烧心」とも言う。簡潔でイメージしやすい。
* 学習コスト:
  + 2文字(「烧」10画、「心」4画)。いずれも基本的で転用しやすい。

1. angin

* 提案: 咽峡炎
* 理由: quinsy(アンギナ:口峡炎)は中国語で「咽峡炎」ということが多い(「扁桃体周围脓肿」などより短い)。
* 学習コスト:
  + 3文字(「咽」7画、「峡」9画、「炎」8画)。口・喉関係の「口偏」「山偏」「火偏」など、ある程度再利用可能。

1. febr

* 提案: 发烧
* 理由: fever(発熱)を日常的に表すとき、中国語では「发烧」が最も一般的(「发热」はやや広義)。
* 学習コスト:
  + 2文字(「发」5画、「烧」10画)。日常表現でもよく使われる。

1. inflam

* 提案: 炎症
* 理由: inflamed/inflammationは中国語で「炎症」がごく一般的。
* 学習コスト:
  + 2文字(「炎」8画、「症」10画)。「疒」部や「火」の再利用が可能。

1. epidemi

* 提案: 流行病
* 理由: epidemic(伝染性の流行病)は中国語で「流行病」が標準的。「疫病」でも通じるが、やや漠然としているのでこちらが通例。
* 学習コスト:
  + 3文字(「流」10画、「行」6画、「病」10画)。比較的よく使われる単語。

malvarmumi（風邪）

swift

Copy

malvarmumi/感冒/現代中国語で「風邪」を最も端的に表す常用語/「感」「冒」は他の単語(例：流感)でも使い回し可能

* 選定理由: 中国語で「風邪」といえば「感冒」が最も一般的。日本語でも「感冒(かんぼう)」は医学用語として通じる。
* 学習コスト: 「感」「冒」はどちらも比較的よく使う常用漢字で、他にも「流感」「冒険」などに転用しやすい。

1. grip（インフルエンザ）

swift

Copy

grip/流感/「流行性感冒」の略称で中国語でも一般的/「流」「感」は常用字で、既出「感」を再利用

* 選定理由: 中国語でインフルエンザは「流行性感冒」だが、省略形の「流感」も広く使われる。
* 学習コスト: 「感」は上記(1)と同じ、さらに「流」も頻出（例えば「交流」「流行」など）で汎用性が高い。

1. ekzem（湿疹）

swift

Copy

ekzem/湿疹/日本語・中国語ともに最も一般的な表記/「湿」「疹」はいずれも皮膚関連で頻出

* 選定理由: 「湿疹」は双方で医学用語として定着。
* 学習コスト: 「疒(やまいだれ)」偏や「氵(さんずい)」偏は病名・液体関連で今後も使う可能性大。

1. podagr（痛風）

swift

Copy

podagr/痛风/中国語で「gout」を表す常用/「痛」「风」は他の病名等にも流用可能

* 選定理由: 中国語で「痛风」はゴート(痛風)の定訳。日本語も「痛風」で同形。
* 学習コスト: 「痛」と「风」は他の単語（頭痛/风湿など）にも使い回しやすい。

1. disenteri（赤痢）

swift

Copy

disenteri/痢疾/中国語での標準的な赤痢の総称/「疒」偏再利用可能

* 選定理由: 現代中国語では「痢疾」が医学的に最も一般的な呼称。
* 学習コスト: 「痢」「疾」はいずれも病気関連の常用要素。やや画数は多いが他の疾患名でも使う可能性がある。

1. morbil（はしか）

swift

Copy

morbil/麻疹/現代中国語・日本語でいずれも「麻疹」が医学用語として定着/「麻」は後述病名でも再利用

* 選定理由: はしか(麻疹)は日本語でも「ましん」と読む。中国語も「麻疹」が通称。
* 学習コスト: 「麻」は後の「麻风」などとも共有可能。

1. lepr（癩病・ハンセン病）

swift

Copy

lepr/麻风/現代中国語では「麻风(病)」が一般的/「麻」「风」は既出

* 選定理由: 中国語では「麻风病」と言うが、2文字に抑えるなら「麻风」でも十分意味が通る。
* 学習コスト: 「麻」「风」は既に他の語根(麻疹/痛风など)で登場しており、学習コスト低減に寄与。

1. epilepsi（てんかん）

swift

Copy

epilepsi/癫痫/中国語で「てんかん」を指す標準用語/医療文献でも広く使用

* 選定理由: 中国語で「癫痫」は公式・専門用語として定着。
* 学習コスト: 「癫」「痫」はやや画数が多いが、他の表記が存在せず標準語として確立している。

1. skorbut（壊血病・壞血病）

swift

Copy

skorbut/坏血病/中国語で壊血病を指す代表的名称/「坏」は先述と共通

* 選定理由: 日本語「壊血病」は中国語で「坏血病」に対応。
* 学習コスト: 「坏」はすでに他の語でも使える可能性あり(坏疽など)。共通化できる。

1. konvulsi（ひきつけ/痙攣・けいれん）

swift

Copy

konvulsi/痉挛/中国語の標準表現(痙攣)/「疒」偏が再利用可

* 選定理由: 医学的には「痉挛」が痙攣・けいれん(ひきつけ)の表記としてよく使われる。
* 学習コスト: すでに「疒(やまいだれ)」偏を多用しており、新出要素が多少軽減される。

1. gangren（壊疽・壞疽）

swift

Copy

gangren/坏疽/中国語の常用医学用語/「坏」は(9)で登場済み

* 選定理由: 「坏疽」が標準的な「壊疽」の簡体字表記。
* 学習コスト: 「坏」は(9)と共通のため追加負担が抑えられる。

1. reŭmatism（リューマチ）

swift

Copy

reŭmatism/风湿/中国語でリウマチ全般を指す名称/「风」は既出

* 選定理由: 「风湿」あるいは「风湿病」は一般的。短くまとめるなら「风湿」。
* 学習コスト: 「风」もすでに痛风などで登場し、学習コストを低減。

1. katar（カタル）

swift

Copy

katar/黏膜炎/粘膜の炎症を指す医学的表現/やや専門用語だが直截的

* 選定理由: 「カタル＝粘膜の炎症」であることから「黏膜炎」。
* 学習コスト: 「黏」「膜」「炎」は新出が多いが、医学用語として比較的定着している。

1. artrit（関節炎）

swift

Copy

artrit/关节炎/「関節炎」の簡体字/「炎」は(13)と共通

* 選定理由: 中国語で「关节炎」は標準用語。日本語の「関節炎」にそのまま対応。
* 学習コスト: 「关」「节」も日常使用頻度が高い常用漢字。さらに「炎」は(13)と同じ。

1. ftiz（肺結核）

swift

Copy

ftiz/肺结核/中国語で「肺结核」が正式名称/「肺」「结」「核」は汎用性あり

* 選定理由: 古い言い方で「痨病」もあるが、現代では「肺结核」が標準。
* 学習コスト: 「结」「核」は次の(16)でも再登場、再利用が見込める。

1. tuberkuloz（結核）

swift

Copy

tuberkuloz/结核/結核症の簡体字/「结」「核」は(15)と同じ

* 選定理由: 「结核」は現代中国語の結核症の一般的呼称。
* 学習コスト: すでに(15)で「结」「核」を使っており、新たな負担が少ない。

1. variol（天然痘）

swift

Copy

variol/天花/中国語で天然痘は一般に「天花」と呼ぶ/画数が比較的少ない

* 選定理由: 「天花」は中国語での天然痘の代表的俗称。
* 学習コスト: 「天」「花」はどちらも非常に頻出の基本漢字。

1. kokluŝ（百日咳）

swift

Copy

kokluŝ/百日咳/中国語の通称そのまま/「百」「日」「咳」と簡明

* 選定理由: 「百日咳」は日本語でも同字・同音。中国語も同様。
* 学習コスト: 「百」「日」は基礎漢字。「咳」(口偏)も他の咳嗽などで再利用可能。

1. skarlatin（しょうこう熱）

rust

Copy

skarlatin/猩红热/中国語の「scarlet fever」の一般名称/「红」「热」は今後も頻出

* 選定理由: 中国語で「猩红热」は猩紅熱(しょうこうねつ)の直訳。
* 学習コスト: 「红」「热」は日常的にも使用頻度が高い。

1. diet（規定食・食事療法）

swift

Copy

diet/饮食/病人の食事・規定食を広く指せる汎用語/常用2文字で簡潔

* 選定理由: 中国語で「饮食」は「食事・食生活」という広い意味だが、医療文脈でも「飲食管理」という形で応用が利く。
* 学習コスト: 「饮」「食」は常に使う字であり、習得が容易。

1. higien（衛生）

swift

Copy

higien/卫生/簡体字での衛生/日常用語のため日本語話者にも連想しやすい

* 選定理由: 「卫生」は公衆衛生・衛生環境など広範に使われる基本単語。
* 学習コスト: 「卫」「生」はどちらも最頻出の部類。

1. san（健康）

swift

Copy

san/健康/日本語・中国語ともに同形・同義/非常にわかりやすい

* 選定理由: 「健康」は両言語で完全に対応し、意味が伝わりやすい。
* 学習コスト: 「健」「康」は医療・日常用語として頻繁に登場。

1. fart（暮らす(健康状態)）

swift

Copy

fart/起居/「暮らしぶり」「起居(ききょ)」の意で健康状態を含意/2字で簡潔

* 選定理由: 中国語の「起居」は日常の起き伏しや生活全般を指す。健康状態を問う文脈でもある程度対応可能。
* 学習コスト: 「起」「居」ともに基本的な漢字だが、新規導入2字ではある。

1. imun（免疫）

swift

Copy

imun/免疫/中国語でも「免疫」が標準/「免」「疫」はよく使われる

* 選定理由: 「免疫」は医学・生物学の基礎用語として定着。
* 学習コスト: 「免」や「疫」は(26)の「疫苗」にも関連し、使い回し可能。

1. inokul（接種）

swift

Copy

inokul/接种/ワクチン接種などを意味/「接」「种」はいずれも常用

* 選定理由: 中国語でワクチン接種は「接种」という。
* 学習コスト: 「接」は手偏+単純構造、「种」は(种子/种族など)で日常的に使用。

1. vakcin（ワクチン）

swift

Copy

vakcin/疫苗/中国語のワクチンに当たる標準用語/「疫」は(24)と共通

* 選定理由: 「疫苗」がワクチンの最も一般的な言い方。
* 学習コスト: 「疫」は(24)と同じ、「苗」も比較的初級漢字で他用例(苗族/苗木)あり。

1. venen（毒）

swift

Copy

venen/毒/最も直接的な1文字/画数も少なく分かりやすい

* 選定理由: 「毒」は日本語・中国語どちらでもそのまま「有害物質」の意味として通じる。
* 学習コスト: 単一漢字で簡潔。初級レベルの常用字。

pest **/** 疫 **/ ペスト(疫病)を連想しやすいため / 「疫」は比較的画数が少なく、他の疫病関連用語にも転用しやすい**

1. parazit / 寄生虫 / 「寄生虫」が最も定着した表現 / 「寄」「生」「虫」はそれぞれ常用度が高く、学習コストも比較的許容範囲
2. bacil / 杆菌 / バチルス(桿状菌)として定着している / 「杆」「菌」のうち「菌」は他のバクテリア関連語でも再利用可能
3. bakteri / 菌 / 「菌」単体で細菌全般を指せるため / 画数はやや多めだが、バクテリア・真菌など生物学関連で汎用度が高い
4. simptom / 症状 / 症状を示す標準的表現 / 「症」「状」ともに医療分野で頻出し、他の派生語(病状など)にも転用可能
5. hospital / 医院 / 病院として一般的な簡体字表現 / 「医」「院」はどちらも医療関連・施設関連で再利用しやすい
6. pacient / 患者 / 患者を最も正確に示す表現 / 「患」は画数が多めだが、「者」は再利用頻度が高い
7. apotek / 药店 / 薬局・ドラッグストアの簡体字表現 / 「药」は今後も薬関連で頻繁に使用、「店」も店名全般に再利用可
8. medicin / 医学 / 医学(学問)を表す標準的表記 / 「医」「学」は既出・再利用頻度も高く学習効率が良い
9. farmaci / 药学 / 薬学(学問)を示す標準的表現 / 「药」「学」ともに既出(再利用可)
10. jalap / 未対応 / 特定の簡体字呼称が定着しておらず割当困難 / 中国語では音訳や生薬名が一定していないため保留
11. narkot / 麻醉 / 「(を)麻酔する」を表す標準的動詞 / 「麻」「醉」はやや画数が多いが、医療(麻酔)分野では汎用度が高い
12. narkotik / 麻醉药 / 麻酔薬・麻薬を総称する表現 / 「麻醉」「药」は既出文字の組合せで再利用性が高い
13. medikament / 药品 / 医薬品を表す際に広く用いられる / 「药」「品」はどちらも再利用頻度が高い
14. drog / 药物 / 一般的な「薬物」の意 / 「药」「物」は双方とも汎用度が高い文字
15. pilol / 药丸 / 錠剤・丸剤を直感しやすい / 「药」は既出、「丸」は画数が少なく、丸薬表現などにも転用可能
16. plastr / 膏药 / 膏薬(漢方系湿布など)として定着 / 「膏」は新出だが、「药」は既出で学習コストを抑えられる
17. homeopati / 顺势疗法 / 中国語で最も一般的なホメオパシーの呼称 / 「顺」「势」「疗」「法」は他用語にも部分的に転用可
18. homeopat / 顺势医师 / ホメオパシー医を示す便宜的表現 / 「顺」「势」「医」「师」はいずれも比較的常用度が高い
19. hidroterapi / 水疗 / 水治療法を意味する簡潔表現 / 「水」「疗」は画数が少なく、既出「疗」の再利用で効率的
20. kurac / 治疗 / (を)治療する、治すを表す / 「治」「疗」は医療関係で再利用頻度が高く、学習コストを抑えやすい
21. terapi / 疗法 / 療法を直接示す簡明な言い方 / 「疗」「法」はすでに出現済みのため新規学習負担が少ない
22. klinik / 诊所 / クリニック(診療所)を示す標準的表現 / 「诊」「所」は医療・施設名での再利用可能性が高い
23. kirurg / 外科医生 / 外科医を示す一般的表記 / 「外」「科」「医」「生」はいずれも常用度が高く再利用しやすい
24. ĥirurg / 外科医生 / 上記と同義の外科医 / 同一語義のため同一表記を採用し、混乱を避ける
25. kirurgi / 外科学 / 外科学(専門分野)を示す / 「外」「科」「学」は既出文字の組合せ
26. ĥirurgi / 外科学 / 上記と同義(外科学) / 同義のため同一表記を割当

operaci / 手术 /

* + 選定理由: 中国語で「手术」は「手術」の意味。日本語の「手術」に近く、比較的わかりやすい。
  + 学習コスト: 「手」「术」はいずれも使用頻度が高く、他の医療関連用語にも転用しやすい。

1. amput / 截肢 /
   * 選定理由: 中国語で「截肢」は外科的な「切断」を意味する標準的な表現。
   * 学習コスト: 「截」「肢」はいずれも医療関連で見かけやすい単語(ただしやや専門的)。将来的に医療分野で使い回す可能性あり。
2. injekt / 注射 /
   * 選定理由: 中国語・日本語ともに「注射」は共通する表現で、意味が直感的に伝わりやすい。
   * 学習コスト: 「注」「射」はどちらも比較的頻出の漢字であり、他動詞や軍事(射撃)関連にも使われる可能性がある。
3. klister / 灌肠 /
   * 選定理由: 中国語で「灌肠」は医療現場での「浣腸」に相当する表現。
   * 学習コスト: 「灌」はやや画数が多いが、日常語にも「灌溉(灌がい)」等で現れる。腸の簡体字「肠」は既に広く使われるため認知度は高め。
4. zuav / 未対応 /
   * 選定理由: 非常に専門的(アルジェリア歩兵等)かつ現代での使用頻度が極めて低い軍事用語。
   * 学習コスト: このため学習コスト削減を優先し、割当を行わない(未対応)とした。
5. sieĝ / 包围 /
   * 選定理由: 「包围」は「包囲する」「取り囲む」という意味で、中国語の基本的な表現。
   * 学習コスト: 「包」「围」はいずれも常用漢字で、他分野でも応用しやすい。
6. embusk / 伏击 /
   * 選定理由: 中国語で「待ち伏せ」「奇襲」を表す標準的な語。
   * 学習コスト: 「伏」「击」はいずれも軍事・武力関連でしばしば見かける常用字。
7. arm## / 未対応 /
   * 選定理由: リスト中で同義の「arm」が重複しているように見える(かつ末尾に##が付与され“語根ではない”可能性)。
   * 学習コスト: 重複語根である疑いが強く、対応を見送る。
8. arm / 武装 /
   * 選定理由: 「武装」は「(に)武器を持たせる／武装させる」という動作・状態を直接的に表す標準的な熟語。
   * 学習コスト: 「武」は軍事一般で再利用しやすい。新出の「装」(装備・服装など)も比較的汎用性がある。
9. mobiliz / 动员 /

* 選定理由: 中国語の「动员」は軍事・組織的な「動員」を表す語として最も直接的。
* 学習コスト: 「动」「员」はいずれも日常語にも登場する頻出字。

1. rekrut / 新兵 /

* 選定理由: 日本語でも「新兵」は「新しく徴募された兵」を意味し、語根のニュアンスに合う。
* 学習コスト: 「新」「兵」ともに画数・頻度的にそれほど負担が大きくない。

1. kanon / 大炮 /

* 選定理由: 中国語で「大炮」は「大砲」を意味し、軍事での「キャノン(cannon)」に対応。
* 学習コスト: 「大」は初歩的・頻出、「炮」は後述の「炮兵」などでも再利用できる。

1. munici / 弹药 /

* 選定理由: 「弹药」は中国語で「弾薬(たんやく)」。とても標準的な用語。
* 学習コスト: 「弹」は「弾丸・弾く」などで、同様に軍事や楽器演奏(弾く)関係で見る場合もある。「药」は薬関連で頻出。

1. artileri / 炮兵 /

* 選定理由: 「砲兵隊」を中国語では通常「炮兵」。
* 学習コスト: 「炮」は上記(大炮)で既出。兵(新兵, 哨兵など)も再利用。

1. grenad / 手雷 /

* 選定理由: 本来は「手榴弹」が正式だが、画数の多い「榴」を避け、「手雷」(手榴弾の略称)を採用。中国語でも口語等で通じやすい。
* 学習コスト: 「手」は既出(手术)。「雷」は後述の「鱼雷」(魚雷)でも再利用可能。

1. torped / 鱼雷 /

* 選定理由: 中国語で「鱼雷」は「魚雷」。
* 学習コスト: 「鱼」は単純な偏旁(さかなへん)が省略された簡体字で覚えやすい。「雷」は(手雷)と共通。

1. salv / 齐射 /

* 選定理由: 「一斉射撃」は中国語で「齐射」という表現が使われる。
* 学習コスト: 「齐」はシンプルかつ「整う」「揃う」のニュアンス。「射」は注射などと共通。

1. halebard / 未対応 /

* 選定理由: 「halberd(ほこやり)」は中国語だと古武器「戟」等だが、極めて専門的で使用頻度低。
* 学習コスト: 漢字種類を抑える観点から割当を行わず。

1. afust / 炮架 /

* 選定理由: 砲の架台・砲架を中国語で「炮架」。
* 学習コスト: 「炮」は既出。「架」は新出だが比較的よく見る字(書架、機架など)で、軍事以外にも応用可能。

1. kazemat / 炮台 /

* 選定理由: カセマット(casemate)は厳密には「砲郭」的な構造だが、中国語では「炮台」(砲台・バッテリー)が近い。
* 学習コスト: 「炮」は再利用、「台」は画数が少なく覚えやすい。

1. piked / 哨兵 /

* 選定理由: 「小哨(哨所)」にいる兵＝「哨兵」は待哨・見張り・警戒などを担う兵を示し、英語の「sentry/picket/outpost」に対応。
* 学習コスト: 「哨」は新出だが軍事文脈でよく使われる。「兵」はすでに複数登場。

1. ponton / 浮桥 /

* 選定理由: 「pontoon」は軍事利用の「舟橋」や「浮橋」に相当し、中国語では「浮桥」が一般的。
* 学習コスト: 「浮」「桥」は日常・公共施設関連(橋)などで応用可能。

1. eskadr / 舰队 /

* 選定理由: 海軍の「艦隊」「分艦隊(小艦隊)」を中国語では「舰队」。
* 学習コスト: 「舰」は戦艦関連で継続使用の可能性あり。「队」はチーム・部隊などを表す常用字。

1. admiralitat / 海军部 /

* 選定理由: 「海軍本部」は中国語で「海军部」または「海军总部」。ここでは短い「海军部」を採用。
* 学習コスト: 「海」は広く使う機会多し。「军」は軍関連で再利用。「部」も部署/部門などで頻出。

1. gvardi / 近卫军 /

* 選定理由: 「親衛隊」「近衛兵」に当たる。中国語では「近卫军」「禁卫军」などが近いが、「近卫军」がやや一般的。
* 学習コスト: 「近」「卫」は新出だが画数少なめ。「军」は再利用。

1. divizi / 师 /

* 選定理由: 軍の「師団」を中国語では「师」(単漢字)で表現される場合が多い。
* 学習コスト: 画数が少なく、軍事用の階級・部隊編成で応用可能。

1. kazern / 兵营 /

* 選定理由: 「兵営」は「兵士の宿営地」、すなわち「兵舎・バラック」。中国語では「军营」「兵营」が通例だが、既出の「兵」を活かすため「兵营」を採用。
* 学習コスト: 「兵」は既出。「营」は新出だが、ほかの「営(経営等)」関連で再利用する可能性がある。

1. infanteri

nginx

Copy

infanteri / 步兵 / 中国語で「歩兵」を意味する標準的表現 / 「歩」「兵」いずれも比較的常用で学習しやすい

* 理由: 中国語で「歩兵」は「步兵」が一般的。「步」「兵」はともに初級レベルで頻出する漢字であり、日本語圏でも意味を把握しやすい。

1. skadr (騎兵中隊などの「小隊・中隊」的ニュアンス)

nginx

Copy

skadr / 中队 / 「squadron」の定訳に近い / 「中」「队」いずれも初級レベルで常用

* 理由: 中国語で「中队」は軍や航空の「中隊」・「小隊」規模を指す表現として一般的。日本語話者にも「隊」という字は連想しやすい。

1. kavaleri (騎兵)

nginx

Copy

kavaleri / 骑兵 / 中国語で「騎兵」を意味する標準的表現 / 「骑」はやや画数多めだが常用、「兵」は既出

* 理由: 「騎兵」は中国語で「骑兵」が基本。日本語の「騎」と同系で、意味が把握しやすい。

1. brigad (旅団)

nginx

Copy

brigad / 旅 / 中国語で旅団を指す簡略形 / 1文字で比較的わかりやすい

* 理由: 中国語の部隊編制で「旅」は「旅团（旅団）」を略して指すことがある。単漢字に簡略化。

1. regiment (連隊)

nginx

Copy

regiment / 团 / 中国語で「連隊」に相当 / 1文字だが中国語では「团」で通じる

* 理由: 「团」は「団」と同源で、日本語でも「団体」等から連想しやすい。中国語では「团」だけでも部隊編制（連隊）を指す。

1. batalion (大隊)

nginx

Copy

batalion / 营 / 中国語で「大隊」に相当 / 軍事用語として標準的

* 理由: 「营」は「営」と同源で、日本語圏でも「営舎」「営地」などの字で見かける。大隊(営)の編制を示す常用字。

1. legi (軍団・レギオン)

nginx

Copy

legi / 军团 / 中国語で「軍団」「レギオン」を表す標準的表現 / 「军」も「团」も既出・常用

* 理由: 「軍団」に対応する中国語は「军团」が最も一般的。すでに「军」「团」を他の語根でも使っているので学習コストを抑えられる。

1. arme (軍隊、陸海空を含む全軍)

nginx

Copy

arme / 军队 / 最も一般的な「軍隊」の中国語 / 「军」「队」どちらも既出のため学習コスト低

* 理由: 「军队」は「軍隊」の中国語表記であり、広く「軍全般」を指す。

1. korpus (軍団・軍団級部隊、corps)

nginx

Copy

korpus / 兵团 / 「兵团」は「兵+团」の組み合わせで「corps」相当 / 既出漢字「兵」「团」を再利用

* 理由: 「兵团」は中国語で「軍団」「兵団」を意味し、とくに「～兵团」の形で部隊を表すことが多い。

1. aviad (航空・飛行)

nginx

Copy

aviad / 航 / 中国語の「航空」に通じる要素を短縮 / 単字で航空関連を連想可能

* 理由: 厳密には「航空」は「航空」と2文字だが、簡略的に1文字「航」で「航行」「航空」を連想。画数10だが比較的常用。

1. aviad/il## (航空機・飛行機など「飛行する道具」)

bash

Copy

aviad/il## / 飞机 / 中国語で「飛行機」を意味する最も一般的表現 / 「飞」+「机」は既出予定の常用字

* 理由: 「飞机」は「飛行機」の簡体字で、中国語圏でもっとも基本的な単語。
  + ※「aviadilo」は本来「航空機一般」だが、中国語では多くの場合「飞机」で通じる。

1. aeroplan (飛行機)

nginx

Copy

aeroplan / 飞机 / 同上、「飛行機」に相当 / 同一表記を使い回して学習コスト削減

* 理由: 「飛行機」を意味する最も標準的な中国語。11) と同じ表記だが、将来的に上付き文字などで区別可。

1. flug (飛ぶ、飛翔)

nginx

Copy

flug / 飞 / 中国語で「飛ぶ」を意味する動詞・概念 / 画数3と少なく分かりやすい

* 理由: 「飞」は「飛」の簡体字で、日本語の「飛」から想像しやすい。

1. pilot (パイロット)

nginx

Copy

pilot / 飞行员 / 中国語で「パイロット」を意味する標準的表現 / 「飞」「行」「员」は全て比較的常用

* 理由: 「飞行员」が最も普通に通じる。既出の「飞」に加え、「行」「员」は学習頻度も高い常用字。

1. fregat (フリゲート艦)

nginx

Copy

fregat / 护卫舰 / 中国語で「フリゲート」を最も自然に表す / 「护」「卫」「舰」は軍事関連で頻出

* 理由: 現代中国語で「フリゲート艦」は「护卫舰」が定訳。画数はやや多めだが、中国語として自然。

1. paraŝut (パラシュート)

Copy

paraŝut / 伞 / 単字「傘」のイメージを流用 / 正式には「降落伞」だが簡略化して学習コストを軽減

* 理由: 標準用語は「降落伞」だが、字数・画数が多い。ここでは1文字「伞」で連想しやすく簡略に。

1. helikopter (ヘリコプター)

nginx

Copy

helikopter / 直升机 / 中国語で「ヘリコプター」を示す標準表現 / 「直」「升」「机」すべて比較的常用

* 理由: 「直升机」は最も典型的な中国語訳。すでに「机」は出現済み。

1. ambulanc (救急車)

nginx

Copy

ambulanc / 救护车 / 中国語で「救急車」を表す定番 / 「救」「护」「车」はいずれもよく使う字

* 理由: 「救护车」は救急車の中国語表記。やや画数は多いが、もっともポピュラーで分かりやすい。

1. kurier (急使・特使・伝令)

nginx

Copy

kurier / 信使 / 中国語で「使者」「メッセンジャー」を表す一般的な言い方 / 「信」「使」いずれも常用

* 理由: 「信使」は「手紙の使者」→「メッセンジャー」「クーリエ」のニュアンス。日本語圏でも「信」の字は容易に連想できる。

1. ekspres (急行列車、エクスプレス)

nginx

Copy

ekspres / 急行 / 日本語「急行列車」にも対応 / 中国語ではやや和製寄りだが意味は通じやすい

* 理由: 中国で「特快」(特別快速)などの言い方もあるが、「急行」は日本語圏での連想が容易。中国語話者にも大意は伝わる。

1. aren (闘技場・競技場)

nginx

Copy

aren / 竞技场 / 中国語で「アリーナ」を指す標準的表現 / 「竞」「技」「场」いずれも比較的常用

* 理由: 直訳で「アリーナ」は「竞技场」が最もわかりやすい。3文字だが意味がはっきり伝わる。

1. hipodrom (競馬場)

nginx

Copy

hipodrom / 赛马场 / 中国語の「競馬場」表現 / 「赛」「马」「场」いずれも認知度高め

* 理由: 「赛马场」は現代中国語で「競馬場」を表す。すでに「场」は上記(21)と共通。

1. cirk (サーカス)

nginx

Copy

cirk / 马戏团 / 中国語の「サーカス」 / 「马」「戏」「团」は軍事以外でも使う字

* 理由: 「马戏团」がサーカスの一般的呼称。「马」は競馬などで既出、「团」は連隊等で既出。

1. amfiteatr (円形競技場、アンフィシアター)

nginx

Copy

amfiteatr / 圆形剧场 / 中国語で「円形劇場」を示す代表的表現 / 4文字だが自然な定訳

* 理由: 本来は「圆形露天剧场」がより正確だが長いので「圆形剧场」に簡略化。どちらもよく通じる。

1. gimnast (体操教師・体操選手など)

nginx

Copy

gimnast / 体操 / 中国語で「体操」を示す標準的表現 / 2文字でわかりやすい

* 理由: 「体操」を指す最も基本的な単語。教師・選手など詳細区分は上付きなどで区別可能。

1. sport (スポーツ)

nginx

Copy

sport / 运动 / 中国語で「スポーツ」を指す一般表現 / 「运」「动」はどちらも基礎漢字

* 理由: 中国語で「スポーツ」を広く言う場合は「体育」「运动」などがあるが、「运动」が「運動」として日本語圏も連想しやすい。

1. atlet (運動選手、アスリート)

nginx

Copy

atlet / 运动员 / 中国語で「アスリート」を意味する標準形 / 「运」「动」「员」はいずれも常用

* 理由: 中国語で「运动员」は一般に「運動の選手」を指す最もポピュラーな単語。26)「运动」と連動して分かりやすい。

turnir

* + 提案: 竞
  + 理由: トーナメント(大会)は「競い合う」概念。競技・競争系を「竞」に一本化し、学習コストを削減。
  + 学習コスト: 既出(以下の競争系と共有)のため追加負担なし。

1. konkurenc
   * 提案: 竞
   * 理由: ビジネス等における競争。「竞争(競争)」の核心「竞」を再利用。
   * 学習コスト: 他競争系と同一文字。追加負担なし。
2. konkur
   * 提案: 竞
   * 理由: 「競争する」という動詞的用法も「竞」で十分表現可(のちに上付き等で区別)。
   * 学習コスト: 同上(すでに「竞」を利用)。
3. konkurs
   * 提案: 竞
   * 理由: 「競技・コンテスト」全般も同じく「竞」。
   * 学習コスト: 同一文字で統合、重複負担なし。
4. ski
   * 提案: 雪
   * 理由: スキーは「滑雪」だが、まずは雪上スポーツとして「雪」に集約。
   * 学習コスト: 「そり(sled)」と共有すれば、雪上系を一文字で把握可能。
5. sabr (サーベル)
   * 提案: 刀
   * 理由: 中国語の「军刀」を簡略化し、最も画数の少ない「刀」へ。サーベル=刀剣類。
   * 学習コスト: 2画の超基本字で、武器系に汎用。
6. sled
   * 提案: 雪
   * 理由: 本来は「雪橇」だが、skiと同様「雪」で雪上用具を一本化。
   * 学習コスト: skiと同一文字。追加負担なし。
7. sel (鞍)
   * 提案: 鞍
   * 理由: 「马鞍(馬鞍)」の要素だが、単独「鞍」は簡体字・繁体字とも同形。「馬」だけでは鞍と分からないため直截に採用。
   * 学習コスト: 他に転用しづらいが、直接的で分かりやすい。
8. bilard (ビリヤード)
   * 提案: 球
   * 理由: 台球/撞球など「球」を使うスポーツ。とりあえず「球」一字で「玉突き」のイメージ可。
   * 学習コスト: ボール系競技にも流用可能なため汎用性は高い。
9. polk (ポルカ)

* 提案: 舞
* 理由: ポルカは舞踊の一種。「ダンス＝舞」で比較的直感的。
* 学習コスト: 多少画数はある(14画)が、「踊」のような字よりは簡潔で意味が通る。

1. parodi (パロディ)

* 提案: 戏
* 理由: 中国語で「戏仿」はパロディを指す用語。核心「戏」(「戯」の簡体)を採用。
* 学習コスト: 同じ“演じる/見せる”系としてburleskとも共有可能。

1. burlesk (バーレスク)

* 提案: 戏
* 理由: 「滑稽戏」などで“こっけいな演劇”を連想。パロディと同じ「戏」を流用。
* 学習コスト: parodiと同字で、一貫性を保つ。

1. barikad (バリケード)

* 提案: 障
* 理由: 「障碍」「路障」など中国語の文脈で「障」は障壁・バリケードを表しやすい。
* 学習コスト: やや画数多めだが、他に適切な一字が乏しく妥当。

1. lice (リセ: フランスの高等中学)

* 提案: 学
* 理由: いずれも「学校教育」の範疇とみなし、学問・教育の「学」に集約。
* 学習コスト: 後続の学系ワードとも共有し、一文字にまとめて負担削減。

1. gimnazi (ギムナジウム: ドイツの高等中学)

* 提案: 学
* 理由: (14)liceと同じ。ヨーロッパ系高校も「学」で一本化。
* 学習コスト: すでに「学」を使用済み。

1. skol (学派など)

* 提案: 学
* 理由: 「学校」も含むが「学派」=school of thought。「学」で教育・学術全般に対応。
* 学習コスト: 同上。追加負担なし。

1. fakultat (大学の学部)

* 提案: 学
* 理由: 大学の下位組織もまとめて「学」。
* 学習コスト: 既出のため新字追加なし。

1. student (学生)

* 提案: 学
* 理由: 「学生」はまさに学ぶ人。「学」で統合して注釈(上付きなど)で区別。
* 学習コスト: 同一文字。

1. universitat (大学)

* 提案: 学
* 理由: 最高学府も含め「学」で一本化。
* 学習コスト: 同字利用。

1. kolegi (カレッジ, 単科大学など)

* 提案: 学
* 理由: 大学系の専門学校も教育領域で「学」。
* 学習コスト: 既存の文字で可。

1. akademi (学士院, 研究院)

* 提案: 学
* 理由: 研究所やアカデミーも「学術領域」。
* 学習コスト: 同上。

1. temperatur (温度)

* 提案: 热
* 理由: 中国語で直接“温度”を表す一字は存在しないが、「热」は「热度(温度)」「热量」など“熱”関連を幅広くカバー。
* 学習コスト: 以下の“暖房”“熱”系とも共有し、一括管理。

1. termometr (温度計)

* 提案: 热
* 理由: 本来「温度計＝温度计」だが、(22)temperaturと同じ熱概念でまとめる。
* 学習コスト: 新文字なし。

1. hejt (暖房する)

* 提案: 热
* 理由: “暖める”“加熱する”は中国語で「加热」。同じ「热」で統合可能。
* 学習コスト: 同上。

1. varm (暑い, 暖かい)

* 提案: 热
* 理由: “暖かい・熱い”を示す形容詞も「热」に含め、一元化。
* 学習コスト: 同一文字「热」に集約。

1. ard (白熱の, 灼熱)

* 提案: 热
* 理由: “白熱・灼熱”も「热(灼热)」「白热化」などで表現可能。
* 学習コスト: 同上。

1. topograf (地誌学者)

* 提案: 地
* 理由: 地形・地理など「地」を使う領域。最頻出字で直感的。
* 学習コスト: 新規だが1文字のみなので負担は少ない。

geolog

* + 提案: 地质
  + 理由: 中国語で「地质」は「地質(ちしつ)」の略称として広く使われ、日中双方が連想しやすい。
  + 学習コスト: 「地」「质」はいずれも使用頻度が高い漢字で、他の語根にも転用しやすい。

1. geograf
   * 提案: 地理
   * 理由: 「地理」は地理学の分野を示す非常に代表的な2文字熟語。日中双方で容易に意味を把握できる。
   * 学習コスト: 「地」は既出、「理」も頻出漢字なので学習コストは比較的低い。
2. paleograf
   * 提案: 古文
   * 理由: 厳密には「古文字(学)」や「古文書学」のほうが正確だが、2文字に収めるため「古文」を採用。日本語では「古文＝古典的な文章」の意味合いが強いが、「古文字」をある程度連想できる。
   * 学習コスト: 「古」はよく使われる(5画)、「文」も簡明(4画)。
3. paleontolog
   * 提案: 古生
   * 理由: 本来「古生物学」が正式だが、2文字に簡略化。「古い生き物」＝古生物のイメージを簡易に表す。
   * 学習コスト: 「古」は既出、「生」も常用範囲であり他分野(生物, 生理など)への再利用がしやすい。
4. grafolog
   * 提案: 笔迹
   * 理由: 中国語で「笔迹」は「筆跡」を意味し、筆跡学(grafologio)を連想しやすい。
   * 学習コスト: 「笔」(簡体字)と「迹」は標準的な組み合わせ。ただしやや画数は多め(笔:10画, 迹:9～13画程度の書体差あり)だが、直感的な2文字表現。
5. etnograf
   * 提案: 民族
   * 理由: 厳密には「民族志」(民族誌)が3文字だが、2文字に留めるため「民族」を採用。民族(民衆)を調査・記述する分野を連想できる。
   * 学習コスト: 「民」(5画)と「族」(11画)の組み合わせだが、「民族」は非常に基本的な熟語なので比較的覚えやすい。
6. genealog
   * 提案: 系图
   * 理由: 家系図などを意味する「系谱」や「家谱」が一般的だが、「家」との重複を避ける・2文字に絞る観点から「系图」を提案(「系」= 系統,「图」= 図・図表のイメージ)。
   * 学習コスト: 「系」(7画)、「图」(8画)。意味としてはやや省略気味だが、系統図を想起できる。
7. biograf
   * 提案: 传记
   * 理由: 「传记」は伝記・バイオグラフィーを指す標準的な2文字表現。
   * 学習コスト: 「传」(6画)、「记」(5画)ともに高頻度で、他への再利用可能性も大。
8. filolog
   * 提案: 文献
   * 理由: 「フィロロジー(文献学)」というニュアンスを端的に表す2文字として「文献」を採用。
   * 学習コスト: 「文」は既出、「献」はやや画数多め(13画)だが、よく使われる常用字。
9. bibliograf
   * 提案: 书目
   * 理由: 書誌学(bibliografio)に対応する熟語。「书目」は書籍目録・書誌リストの意味でわかりやすい。
   * 学習コスト: 「书」(4画)、「目」(5画)はいずれも簡単で、意味も直感的。
10. veterinar
    * 提案: 兽医
    * 理由: 中国語・日本語(簡体字ではないが)ともに「獣医」のイメージ。すでに2文字で「獣医師」を連想しやすい。
    * 学習コスト: 「兽」(11画, 簡体形)、「医」(7画)だが、それぞれ頻出度は高め。
11. entomolog
    * 提案: 昆虫
    * 理由: 「昆虫(こんちゅう)」はそのまま昆虫の意味。昆虫学(entomologio)を想起しやすい。
    * 学習コスト: 「昆」(8画)、「虫」(6画)。生物関連で他にも転用しうる(虫偏など)。
12. ornitolog
    * 提案: 鸟
    * 理由: 本来は「鸟类」(鳥類)が自然だが、1文字に圧縮して画数と種類を減らす。「鸟(鳥)＝鳥」を連想させるため最低限意味は通る。
    * 学習コスト: 1文字のみ(5画)で簡潔。
13. zoolog
    * 提案: 动物
    * 理由: 動物学(zoologio)を示す代表的な2文字。
    * 学習コスト: 「动」(6画, 簡体)と「物」(8画)。いずれも基本語彙。
14. biolog
    * 提案: 生物
    * 理由: 「生物学(biologio)」を想起しやすい2文字。
    * 学習コスト: 「生」(既出)と「物」(既出予定)の組み合わせで効率的。
15. fiziolog
    * 提案: 生理
    * 理由: 生理学(fiziologio)の略称として広く用いられる「生理」。
    * 学習コスト: 「生」(既出)、「理」(既出)の組み合わせ。
16. anatom
    * 提案: 解剖
    * 理由: 解剖学(anatomio)を直接連想できる2文字熟語。
    * 学習コスト: 「解」(13画)と「剖」(10画)でやや多めだが、他に適切な短縮熟語が少ない。
17. etiolog
    * 提案: 病原
    * 理由: 病因(etiologio)を2文字に集約。「病原」は「病気の原因」の意味合いが強く、それに近い。
    * 学習コスト: 「病」(10画)と「原」(10画)はいずれも常用。
18. patolog
    * 提案: 病理
    * 理由: 病理学(patologio)を端的に表す2文字。「病理」は広く使われる。
    * 学習コスト: 「病」(既出)と「理」(既出)。
19. astrolog
    * 提案: 占星
    * 理由: 占星術(astrologio)を2文字で示す熟語として一般的。「占星」は短く意味も明確。
    * 学習コスト: 「占」(5画)、「星」(9画)。
20. astronom
    * 提案: 天文
    * 理由: 天文学(astronomio)に対応。日中共通の2文字熟語として容易に連想可。
    * 学習コスト: 「天」(4画)、「文」(4画, 既出)。
21. retor
    * 提案: 修辞
    * 理由: 修辞学(retoriko)を2文字化。「修辞」は日中ともに「レトリック」を指す表現で通じやすい。
    * 学習コスト: 「修」(9画)と「辞」(13画)でやや多めだが、他の候補も長い傾向があるため妥当。
22. teokrat
    * 提案: 神权
    * 理由: 神権(しんけん)統治を意味する熟語。「神权」は簡体字であり「神權」の簡略形。
    * 学習コスト: 「神」(9画)、「权」(6画, 簡体)。政治関連の他語根に使い回しできる可能性は限定的だが、2文字ですっきりまとめられる。
23. teist
    * 提案: 神
    * 理由: 有神論者(テイスト)をわずか1文字で象徴するには「神」が最も直接的。2文字にするなら「有神」等もあるが、簡潔性を優先。
    * 学習コスト: 「神」(既出)。ただし一文字なので場面によっては上付き文字等で区別が必要。
24. teolog
    * 提案: 神学
    * 理由: 神学(テオロギー)を直截に表す2文字として一般的。
    * 学習コスト: 「神」(既出)と「学」(他でも再利用しうる)、非常に基本的。
25. mineralog
    * 提案: 矿物
    * 理由: 鉱物(mineralogio)を表す2文字。「矿物」は簡体字で、日本語の「鉱物」に対応。
    * 学習コスト: 「矿」(8画, 簡体)、「物」(既出)。
26. metalurgi
    * 提案: 冶金
    * 理由: 冶金(metalurgio)の標準的2文字表現。
    * 学習コスト: 「冶」(7画)、「金」(8画)で比較的頻度は高い。

mineralogi / 矿物学 / 中国語で「mineralogy」は通常「矿物学」。意味が明確 / 「矿(5画)」「物(8画)」「学(8画)」はいずれも頻出字なので学習コストを抑えられる

1. numismat / 钱币学家 / 「numismat」は貨幣研究家にあたるため、中国語では「钱币学家」が最も一般的 / 「钱(10画)」「币(4画)」「学(8画)」「家(10画)」は汎用性が高く、他分野の「学家」表記とも整合
2. numismatik / 钱币学 / 貨幣学として「钱币学」が広く通用 / 上と同様「钱」「币」「学」の組合せで、既出字の再利用も可能
3. paleografi / 古文字学 / 中国語で「paleography」は「古文字学」が一般的（日本語の「古文書学」と少し範囲が異なるが、より標準的） / 「古(5画)」「文(4画)」「字(6画)」「学(8画)」は他にも応用しやすい
4. paleontologi / 古生物学 / 「paleontology」は「古生物学」で定着 / 「古」「生」「物」「学」はすでに他でも用いており学習コストを抑制
5. arkeologi / 考古学 / 「archaeology」は中国語で「考古学」 / 「考(6画)」「古(5画)」「学(8画)」はいずれも高頻度
6. arĥeologi / 考古学 / 上と同じく「archaeology」の異綴りなので同一割当 / 冗長な分化を避けて「考古学」を使い回し
7. arkeolog / 考古学家 / 考古学者を指す標準表現は「考古学家」 / 接尾辞「学家」を流用し、他の専門家とも表記を統一
8. arĥeolog / 考古学家 / 上と同様、同一分野(考古学者)なので「考古学家」 / 学習コストの重複回避
9. psikologi / 心理学 / 「psychology」は「心理学」が定訳 / 「心(4画)」「理(11画)」「学(8画)」の組み合わせは他分野にも波及
10. psikolog / 心理学家 / 心理学者・心理学専門家を示すため「心理学家」 / 「学家」は専門家表記の定番なので学習容易
11. antropolog / 人类学家 / 「anthropologist」は「人类学家」 / 「人(2画)」「类(10画)」「学」「家」も再利用しやすい
12. antropologi / 人类学 / 「anthropology」は「人类学」が標準 / 既出の「人」「类」「学」を用い、画数を増やさずに済む
13. vivisekci / 活体解剖 / 「vivisection」は中国語で「活体解剖」 / 短縮形はなく、通用度も高い表現。「解(13画)」「剖(10画)」は後の「解剖学」と共通
14. zoologi / 动物学 / 「zoology」は「动物学」 / 「动(6画)」「物(8画)」「学(8画)」はいずれも他語根と共通化しやすい
15. entomologi / 昆虫学 / 「entomology」は「昆虫学」 / 「昆(7画)」「虫(6画)」「学(8画)」の組み合わせは常用学術用語
16. ornitologi / 鸟类学 / 「ornithology」は中国語で「鸟类学」 / 「鸟(5画)」「类(10画)」「学(8画)」で既出の「类」「学」を活用
17. etiologi / 病因学 / 「etiology」は「病因学」が定訳 / 「病(10画)」「因(6画)」「学(8画)」で「病理学」とも一部共通
18. patologi / 病理学 / 「pathology」は「病理学」 / 「病」「理」「学」で「心理学」「病因学」と重複利用が多く学習効率◎
19. biologi / 生物学 / 「biology」は「生物学」 / 「生(5画)」「物(8画)」「学(8画)」は既出字が多く、体系内で学習しやすい
20. botanik / 植物学 / 「botany」は「植物学」が標準 / 「植(9画)」「物(8画)」「学(8画)」の組合せ；「物」「学」は他と共通
21. anatomi / 解剖学 / 「anatomy」は「解剖学」 / 「解(13画)」「剖(10画)」「学(8画)」は「活体解剖」とも関連し理解しやすい
22. fizik / 物理学 / 「physics」は「物理学」 / 「物(8画)」「理(11画)」「学(8画)」は何度も登場するため覚えやすい
23. fiziologi / 生理学 / 「physiology」は「生理学」 / 「生(5画)」「理(11画)」「学(8画)」の組合せで既出の再活用
24. optik / 光学 / 「optics」は「光学」 / 「光(6画)」「学(8画)」の2文字でシンプルかつ日中両言語圏で直感可能
25. estetik / 美学 / 「aesthetics」は中国語で「美学」 / 「美(9画)」「学(8画)」のみの構成で分かりやすい
26. balistik / 弹道学 / 「ballistics」は「弹道学」が定訳 / 「弹(7画)」「道(9画)」「学(8画)」でやや画数はあるが一般的

metrik

* + 提案: 音律
  + 理由: 詩や音楽の「韻律」をイメージしやすく、簡体字圏でも「音律」は「メロディ・リズム・詩のリズム」を連想しやすい。
  + 学習コスト: 「音(9画)」「律(9画)」の2文字。いずれも使用頻度は比較的高く、後続の語根割当にも再利用しやすい。

1. fonetik
   * 提案: 音学
   * 理由: 中国語での正式な「音声学」は「语音学」だが、あえてシンプルに「音+学」で「音(声)の学問」と直感しやすい形にした。
   * 学習コスト: 「音」「学」は今後も頻出する汎用性が高い漢字なので有用。
2. mikrob
   * 提案: 微生物
   * 理由: 中国語で「微生物」は定番の訳。「微」は「小さい」「極めて小さな」を表し、「生物」も既習や再利用がしやすい。
   * 学習コスト: 3文字になるが、「微(12〜13画)」「生(5画)」「物(8画)」はいずれも意味が取りやすく、日本語話者にも馴染みが深い。
3. mikrometr
   * 提案: 微尺
   * 理由: マイクロメータ(測定器)をイメージし、「微(微小)＋尺(測る道具)」で簡潔に表現。正式な中国語では「千分尺」等もあるが、より直観的にした。
   * 学習コスト: 「尺(4画)」は画数も少なく、基礎的な漢字なので学習コストも低い。
4. mikroskop
   * 提案: 微镜
   * 理由: 顕微鏡の中国語「显微镜」のうち、「显」はやや画数が多いので省き「微＋镜」で簡潔に。
   * 学習コスト: 「镜(16画)」はやや多画数だが、鏡関連(镜头=レンズ等)で再利用される可能性がある。
5. miĥael
   * 提案: 迈克尔
   * 理由: 中国語での一般的な「マイケル」の音訳。
   * 学習コスト: 「迈(6画)」「克(7画)」「尔(5画)」はいずれも転用がそこまで多い漢字ではないが、人名表記としては代表的。
6. mirabel
   * 提案: 米拉贝尔
   * 理由: 中国語での「ミラベル(果物)」の音訳例に近く、日本語話者にもカタカナ感覚で分かりやすい。
   * 学習コスト: 「米(6画)」「拉(8画)」「贝(7画)」「尔(5画)」はいずれも初歩漢字～中頻度の範囲で、音訳用途が多い。
7. spirit/ism##
   * 提案: 通灵术
   * 理由: 「交霊術」に相当する概念を中国語的に表現すると「通灵(术)」「招魂术」などが挙げられるが、「通灵术」が比較的わかりやすい。
   * 学習コスト: 「通(10画)」「灵(7画)」「术(5画)」。どれも比較的基本的で、他の超自然・霊的表現でも転用可能。
8. spirit/ist##
   * 提案: 通灵师
   * 理由: 霊媒師や術者を表す。「～师」は「〜する人・専門家」を示す常用表現。
   * 学習コスト: すでに「通」「灵」は出現済み。「师(6画)」を加えるだけなので比較的学習コストは低い。
9. muz

* 提案: 诗神
* 理由: Muse(詩神)をイメージ。中国語で「缪斯(mùsī)」という音訳もあるが、画数が多く転用しづらいので「詩(诗)＋神」で構成。
* 学習コスト: 「诗(8画)」「神(9画)」はいずれも日本語話者にも意味が直感的。神関連(神学, 有神論)などで「神」の再利用も期待できる。

1. fetiĉ

* 提案: 物神
* 理由: 「物神崇拝」＝フェティシズム(物神崇拝)の語感に近い。「偶像」にするとアイドル崇拝にずれるため、字面通り「物＋神」。
* 学習コスト: 「物(8画)」「神(9画)」はすでに出現済みで再利用しやすい。

1. spiritualism

* 提案: 唯心论
* 理由: 哲学用語としての「唯心論」(idealism)に対応。霊的交信というより「観念論的(精神主義)」の意味合い。
* 学習コスト: 「唯(11画)」「心(4画)」「论(6画)」の組み合わせ。「论」は他の「～論」で再利用可能。

1. spiritualist

* 提案: 唯心论者
* 理由: 「〜論者」の形で哲学的立場を示す場合に広く使われる。「者」は「〜する人」の意。
* 学習コスト: 「者(8画)」は初出だが、「唯」「心」「论」は既出済。

1. medium

* 提案: 灵媒
* 理由: 霊媒。「灵(霊)」＋「媒(仲介)」で直感的に「霊を仲介する人」を示す。
* 学習コスト: 「灵」は既に登場。「媒(12画)」は少し画数多めだが妥当な表現。

1. teism

* 提案: 有神论
* 理由: 「有神論」。日本語の「有神論」にも対応し、中国語でも「無神論」(无神论)と対になる用語。
* 学習コスト: 「有(6画)」「神(9画)」「论(6画)」はいずれも馴染みやすい。「神」「论」は再利用中。

1. teologi

* 提案: 神学
* 理由: 日本語「神学」と同じ。中国語でもそのまま「神学」と表記する。
* 学習コスト: 「神」「学」は既出であり、短くわかりやすい。

1. indiga

* 提案: 靛
* 理由: インジゴを表す簡体字の代表。単独で「靛」は「藍色染料」の意。
* 学習コスト: 画数は多い(13画)が、色名としては1文字で簡潔。

1. indigo

* 提案: 靛
* 理由: 同じくインジゴ(藍色系)。上と同じ字を転用し、一貫して「靛」で統一。
* 学習コスト: すでに登場済みなので追加負担なし。

1. anagram

* 提案: 字谜
* 理由: 厳密には「アナグラム」＝「文字並べ替え遊び」だが、中国語では「字谜(文字パズル)」が最も近い簡便表現。
* 学習コスト: 「字(6画)」「谜(9画)」。パズル・クイズ文脈での再利用可能。

1. monogram

* 提案: 字组
* 理由: 直訳的には「文字(字)の組み合わせ(组)」。正式には「字母组合」等があるが、簡略化して二文字に。
* 学習コスト: 「组(8画)」は一般的な「組む/グループ」表現で、応用範囲が広い。

1. apopleksi

* 提案: 中风
* 理由: 卒中(脳卒中)を中国語で一般的に「中风」と呼ぶ。
* 学習コスト: 「中(4画)」「风(4画)」はいずれも最基礎レベルで覚えやすい。

1. paroksism

* 提案: 发作
* 理由: 発作・激発。中国語「发作」は病状などの「突然の発生」を表すのに広く使う。
* 学習コスト: 「发(5画前後)」「作(7画)」はいずれも常用で、他動詞表現でも使える。

1. anapest

* 提案: 短短长
* 理由: 詩の韻律「短音・短音・長音」を視覚的に表現。「抑抑扬」等も考えられるが、日本語話者にも「短短長」のほうが直観的。
* 学習コスト: 「短(12画)」「长(4画・※簡体)」が複数出るが、構成は単純。

1. antitez

* 提案: 对立
* 理由: 「アンチテーゼ」＝「対立命題/対比」をシンプルに示すなら「对立」で十分。
* 学習コスト: 「对(5画)」「立(5画)」の2文字で非常に覚えやすい。

1. mani

* 提案: 狂热
* 理由: 「マニア」「熱狂」を端的に表す中国語。「狂(狂気)＋热(熱)」で「激しい情熱・熱中」を示す。
* 学習コスト: 「狂(7画)」「热(10画)」。ほかに「狂喜」「热情」など様々な語に応用できる。

1. superstiĉ

* 提案: 迷信
* 理由: 日本語の「迷信」と同じ意味で、中国語でもそのまま「迷信」。
* 学習コスト: 「迷(7～8画)」「信(9画)」ともに常用で意味もわかりやすい。

1. fanatik

* 提案: 狂信
* 理由: 「狂信的＝fanatic」に相当。信仰・主張に狂的に固執するイメージ。
* 学習コスト: 「狂」は既出、「信」も既出。追加負担なし。

bigot

* + 提案: 狂
  + 理由: 「狂」は「狂信」「狂熱」などの語感から「（信念が）狂おしいほど偏った/熱狂的な」というニュアンスを連想しやすい。日中いずれでも「狂」は「狂人」「狂信」などで極端さ・狂気を表す。
  + 学習コスト: 画数7。既に「狂」は他の「狂気」「熱狂」関係にも転用可能で、種類数削減に有用。

1. lunatik
   * 提案: 狂
   * 理由: 「lunatik」は「狂人」「狂気」を伴う意味（旧来の“月が原因の狂気”）があるため、上と同じ「狂」を再利用。後で上付き文字や振り仮名で区別可能。
   * 学習コスト: 新規漢字なし（上と同一「狂」を使い回し）。種類数を増やさずに済む。
2. somnambul
   * 提案: 梦游
   * 理由: 中国語で「梦游(夢遊)」は「夢の中をさまよう」=「夢遊病(=sleepwalk)」の意味として定着。日本語圏でも「夢遊病」「夢遊」を想起しやすい。
   * 学習コスト: 2文字熟語だが、いずれも比較的頻度が高く、日中双方で意味が推測しやすい。
3. idiot
   * 提案: 痴
   * 理由: 中国語・日本語ともに「痴(チ)」は「愚か」「知能の低い」イメージを持つ。医療的に「白痴(idiot)」という表現もあるが、単字なら「痴」で対応可能。
   * 学習コスト: 画数12。単字でまとまるため、他の熟語よりはコンパクト。
4. paraliz
   * 提案: 麻痹
   * 理由: 中国語で「麻痹(マヒ)」は「麻痺」全般を指す。日本語でも「麻痺」とほぼ同形で馴染みがあるため、連想しやすい。
   * 学習コスト: 2文字ながら、「麻」(11画)も「痹」(10画)も医学用語で一定頻度があり、直感的に「まひ」を想像しやすい。
5. spasm
   * 提案: 抽筋
   * 理由: 中国語で「抽筋」は「けいれん・痙攣」「足がつる」等の意味。口語的だが非常に一般的で、画数もそこまで多くない。
   * 学習コスト: 2文字(合計18画程度)。「痉挛」(正式な医学用語)よりやや画数が少なく、わかりやすい。
6. hipnot
   * 提案: 催眠
   * 理由: 中国語で「催眠」は「hypnosis, 催眠術」を直感的に表す定番語。日本語の「催眠」ともほぼ同義。
   * 学習コスト: 2文字(「催」13画+「眠」10画=23画)。ただし一般用語で認知度が高く、学習コストは比較的低い。
7. apoteoz
   * 提案: 神化
   * 理由: 中国語・日本語ともに「神化」は「神格化」「神としてあがめる」ニュアンスがある。「神格化」より文字数・画数が少なく分かりやすい。
   * 学習コスト: 2文字(「神」9画+「化」4画=13画)。比較的シンプル。
8. sven
   * 提案: 昏倒
   * 理由: 「昏倒」は「意識を失って倒れる」の意味で、中国語でもよく使われる。日本語でも文脈から「昏(くら)んで倒れる」と連想可能。
   * 学習コスト: 2文字(8画+10画=18画)で比較的常用の範囲。
9. sinkop
   * 提案: 昏厥
   * 理由: 「昏厥」は医学的な「失神」「卒倒」を指す正式な言い方。「sven」と近いが、こちらはより専門的(“syncope”)。
   * 学習コスト: 「昏」は既出(再利用可)、新しく「厥」(12画)が増えるが医学用としては標準的。
10. vort
    * 提案: 词
    * 理由: 簡体字「词」は「単語」全般を指す。日本語での「詞(ことば)」に相当し、意味連想しやすい。
    * 学習コスト: 単字(8画)でシンプル。文章関連で今後も「词」を再利用できる可能性がある。
11. verb
    * 提案: 动词
    * 理由: 中国語で「动词」は「動詞」。日中いずれも文法用語として広く定着。
    * 学習コスト: 「动」(6画) + すでに出てきた「词」(8画) = 計14画。文法用語として再利用しやすい。
12. fraz
    * 提案: 句
    * 理由: 中国語の「句」には「文」「フレーズ」「センテンス」などの意味があり、簡潔。
    * 学習コスト: 単字(5画)で非常にシンプル。文関連で再利用も可能。
13. propozici
    * 提案: 命题
    * 理由: 中国語では「命题」は「命題・提案・仮説・プロポジション」の意。文法や論理学で「proposition」を表すのに適当。
    * 学習コスト: 2文字(「命」8画 +「题」(※簡体)約9～10画ほど)。専門用語としては標準的。
14. vokativ
    * 提案: 呼格
    * 理由: 文法用語の「vocative case」を直訳した形。「呼」は「呼びかけ」、「格」は「文法格」。
    * 学習コスト: 2文字(8画+10画=18画)。「格」は後述の他の格と共通で再利用。
15. ablativ
    * 提案: 夺格
    * 理由: 中国語で「ablative」を指す用語として「夺格」(※“奪格”の簡体表記)が使われることがある。
    * 学習コスト: 2文字(6画+10画=16画)で「格」を再利用し、文法格シリーズを統一。
16. akuzativ
    * 提案: 宾格
    * 理由: 中国語で「accusative case」は「宾格」。文法書で広く使われる用語。
    * 学習コスト: 2文字(10画+10画=20画)。「格」は共通。
17. idiotism
    * 提案: 成语
    * 理由: 「idiotism」は「慣用語法(イディオム)」の意。中国語で「成语」は慣用的な言い回しを指し、日本語でも「成語」として“熟語”や“慣用表現”に近い。
    * 学習コスト: 2文字(6画+8画=14画)。中国語圏では頻出語。
18. proverb
    * 提案: 谚语
    * 理由: 中国語で「谚语」は「ことわざ」。日本語にも「諺(ことわざ)」があり、対応が明確。
    * 学習コスト: 2文字(「谚」6画+「语」9画※「语」≒「語」の簡体)。いずれも語彙として常用レベル。
19. sentenc
    * 提案: 格言
    * 理由: 「sentenc」は「格言」「金言」「箴言」などのニュアンス。中国語でも「格言」は「座右の銘・名言」に近い。
    * 学習コスト: 2文字(10画+7画=17画)。すでに「格」は他で登場済み。
20. parafraz
    * 提案: 改写
    * 理由: 厳密には「paraphrase」を「改写(書き換え)」と捉えるのはやや広いが、簡潔さ・連想のしやすさを重視。「意訳」「转述」等よりも画数が少ない。
    * 学習コスト: 2文字(「改」7画+「写」5画=12画)と比較的コンパクト。
21. trop
    * 提案: 比喻
    * 理由: 「trop」は修辞的「比喩」の総称。中国語で「比喻」は「例え」「比況表現」。日本語でも「比喩」は直感的に分かる。
    * 学習コスト: 2文字(4画+7画=11画)で、修辞関連の基本語。
22. metafor
    * 提案: 隐喻
    * 理由: 中国語で「metaphor」は「隐喻」が最も一般的。日本語の「隠喩」とほぼ同じ。
    * 学習コスト: 2文字(「隐」11画+「喻」12画程度)だが、修辞用語として定着度高め。
23. indikativ
    * 提案: 陈述式
    * 理由: 中国語で文法の「indicative mood」は「陈述式」と呼ぶのが一般的。
    * 学習コスト: 3文字(「陈」7画+「述」8画+「式」6画=21画)。やや多めだが文法用語として標準的。
24. demonstrativ
    * 提案: 指示词
    * 理由: 「指示詞(指示代名詞等)」の意味。中国語で「指示词」は「demonstrative word」として定着している。
    * 学習コスト: 3文字(「指」9画+「示」5画+「词」8画=計22画)。ただし「词」は既出再利用。
25. vokal
    * 提案: 元音
    * 理由: 中国語で「vowel」は「元音」が最も標準的。日本語でも「母音」と同様の概念。
    * 学習コスト: 2文字(「元」4画+「音」9画=13画)。文法・発音分野でよく使われる。
26. konsonant
    * 提案: 辅音
    * 理由: 中国語で「consonant」は「辅音(=子音)」。日本語の「子音」と1対1対応。
    * 学習コスト: 2文字(「辅」7画+「音」9画=16画)。発音用語として広く認知される。

asonanc

* 提案: 韵
* 理由: 「assonance（母音による押韻）」は狭義には「韻」に属する概念であり、特に母音ベースの韻を強調するもの。中国語の「韵」は「音の響き・韻律」を表し、日本語でも「韻」として通じる。
* 学習コスト: 後述する rim（韻）と同一の漢字を割り当てることで、学習すべき新たな漢字を増やさずに済む。

1. rim

* 提案: 韵
* 理由: 漢語として「韵」は「韻律」「韻脚」等を示し、詩歌などの「押韻」と直結している。日本語の「韻」に相当し、詩・文学分野の「韻」「韻脚」を連想しやすい。
* 学習コスト: asonanc と同じ字「韵」を使い回す。区別が必要な場合は上付き文字等で調整可。

1. silab

* 提案: 音节
* 理由: 中国語で「音节(yīnjié)」は「シラブル（音節）」の最も一般的な語。日本語話者にも「音」「節」の組み合わせで概ね意味が推測しやすい。
* 学習コスト: 「音」「节」はいずれも頻出・汎用性の高い漢字であり、今後も他の語根に転用しやすい。

1. bombast

* 提案: 浮夸
* 理由: 「浮夸(fúkuā)」は「誇張が激しい・大げさな様」を意味し、文体・言動が大言壮語である状態を示すのに適切。日本語の「浮」や「誇(夸)」のイメージからも「浮ついた誇張」というニュアンスを連想しやすい。
* 学習コスト: 「浮」「夸」はいずれも比較的画数が多くはない（各8～9画前後）。熟語としても2文字だけなので、許容範囲。

1. satir

* 提案: 讽刺
* 理由: 中国語における「讽刺(fěngcì)」は「風刺・皮肉」を指す最も代表的な語。日本語でも「諷刺(ふうし)」として通じる（簡体字化で「讽」に）。
* 学習コスト: 「讽」「刺」は比較的使用頻度も高く、学習価値も大きい組み合わせ。

1. paskvil

* 提案: 讽刺文
* 理由: 「paskvil」は風刺文・誹謗文などを指し、単なる「風刺」だけでなく“文章としての風刺”を強調するため「文」を付加。
* 学習コスト: 「讽刺」は既出。そこに「文」を足すだけなので大きな負担増にはならない。

1. fiktiv

* 提案: 虚构
* 理由: 中国語で「虚构(xūgòu)」は「フィクション／虚構」を示す一般的な語。日本語話者にとっても「虚＝空虚」「构＝構(こう)」に近いイメージがあり、ニュアンスを捉えやすい。
* 学習コスト: 「虚」「构」は常用であり、他の語根（虚～など）にも転用しやすい。

1. apokrif

* 提案: 伪
* 理由: 「apocryphal（偽作・偽書・外典など）」を端的に「伪(偽)」で示す。熟語にすると「伪书」「伪作」なども考えられるが、1文字割当という方針を優先して単独の「伪」を採用。
* 学習コスト: 画数も少なめで比較的わかりやすい(にせへん＋為の簡体化)。日本語の「偽」と対応。

1. sofism

* 提案: 诡辩
* 理由: 「诡辩(guǐbiàn)」は「詭弁・こじつけ」を意味する日中共通認識のある単語。日本語「詭弁」と同義。
* 学習コスト: 「诡」「辩」はどちらも議論・思考関連で今後も使い回し可能。

1. skeptik

* 提案: 疑
* 理由: 「skeptik＝懐疑的」であり、中国語では「怀疑(huáiyí)」「质疑(zhìyí)」などがあるが、1文字での簡潔さを重視し「疑」。
* 学習コスト: 多少画数は多いが、非常に基本的な意味を持つ常用字。

1. spekulativ

* 提案: 思辨
* 理由: 哲学的な「思弁・思辨的」思考を意味するのに中国語では「思辨(sībiàn)」が適切。日本語の「思弁」とほぼ同じ感覚。
* 学習コスト: 「思」「辨」は共に学習価値が高く、推察・弁別など他方面に応用可。

1. metempsikoz

* 提案: 轮回
* 理由: 「輪廻・転生」を指す中国語定訳が「轮回(lúnhuí)」。宗教・哲学用語として広く浸透している。
* 学習コスト: 「轮」(車へん簡体)、「回」はどちらも頻出。

1. transitiv

* 提案: 及物
* 理由: 文法上の「他動詞」は中国語で「及物动词(jíwù dòngcí)」と呼ぶ。ここでは簡略化して「及物」。
* 学習コスト: 「及」「物」はそれぞれ画数も多くなく、すでに日常語彙として広範囲に使われる。

1. transept

* 提案: 翼廊
* 理由: 教会建築などの「トランセプト(袖廊)」を示す語として「翼廊(yìláng)」が使われる場合がある。「横廊」などもあるが、画数を抑えつつ建築用語としても伝わりやすい。
* 学習コスト: 「翼」(6画)＋「廊」(9画)で合計15画程度。複雑すぎず、建築関係で他の用例にも流用可能。

1. marĝen

* 提案: 边距
* 理由: 印刷・レイアウト上の「余白・マージン」は中国語で「边距(biānjù)」「页边距」などが一般的。「边缘」では「端・縁」寄りのニュアンスになるため、「距」を用いてレイアウト的「マージン」を示す。
* 学習コスト: 「边」は常用。「距」も距離や差分を表す汎用性がある。

1. elips

* 提案: 省略
* 理由: 文法上の「ellipsis(省略法)」は中国語で「省略(shěnglüè)」。幾何学の「ellipse(楕円)」とは別義なので注意。
* 学習コスト: 「省」「略」はどちらも比較的使用頻度が高い。

1. elizi

* 提案: 省略
* 理由: 母音脱落など「elide」は「省略する」行為として中国語では「省略」。動詞的用法も同じ語で表すことが多い。
* 学習コスト: 上記(16)と同じく「省略」を使い回し、学習コストを増やさない。

1. dekli­naci

* 提案: 变格
* 理由: 文法の「格変化・格語尾」を表す中国語は「变格(biàngé)」。
* 学習コスト: 「变」は簡体字化されており、「格」は他の文法用語にも登場しやすい。

1. fleksi

* 提案: 词形
* 理由: 動詞や名詞の「語形変化(inflection)」を指す場合、中国語では「词形变化」等と呼ぶが、2文字で簡潔に示すなら「词形」。
* 学習コスト: 「词」「形」はいずれもごく基本的な用字。

1. pleonasm

* 提案: 冗词
* 理由: 「pleonasm(冗言法・重複表現)」には「冗词(rǒngcí)」という言い方があり、「余計な語・重複的語句」のイメージ。「赘言」もあるが画数や普及度を考慮し「冗词」を優先。
* 学習コスト: 「冗」「词」は簡単・常用であり、学習負担が比較的軽い。

1. paradigm

* 提案: 范式
* 理由: 学術用語としての「パラダイム」は中国語で「范式(fànshì)」が一般的。文法上の「語形変化表」は「变格表」などとも言えるが、抽象概念としては「范式」が使われやすい。
* 学習コスト: 「范」「式」は常に使われる漢字であり、再利用性も高い。

1. anomali

* 提案: 异常
* 理由: 「変則・異常」という意味を中国語で最も一般的に表すのが「异常(yìcháng)」。
* 学習コスト: 「异」「常」は非常に汎用的。

1. variant

* 提案: 异文
* 理由: 「variant(異文・異版)」を中国語では「异文(yìwén)」、または「变体」など複数ある。ここでは「異文」という文芸・本文上の変種を示す語として「异文」を採用。
* 学習コスト: 「异」は上記(22)で既出、「文」は日常的に頻出。

1. ofer

* 提案: 供
* 理由: 神への「捧げる・供える・供奉する」といったニュアンスに、中国語単字「供」を充てる。熟語では「供奉」「供献」などもあるが、1文字でシンプルに。
* 学習コスト: 新たな漢字だが8画と比較的少なく、儀式・宗教関連で汎用的。

1. dediĉ

* 提案: 献
* 理由: 「捧げる・捧げ奉る」ニュアンスだが、宗教的献納よりは「奉げる・献身・献呈」に近い意。漢字「献(xiàn)」は「奉献」や「贡献」に通じ、献身・奉献のイメージを与えやすい。
* 学習コスト: 「供(ofer)」と混同しないよう、こちらは「献」を用いて差別化。

1. kontribu

* 提案: 贡献
* 理由: 「貢献・寄与する」の標準的な中国語が「贡献(gòngxiàn)」。
* 学習コスト: 上記(25)の「献」と共通し、うまく再利用が可能。「贡」は次項(27)にも登場。

1. tribut

* 提案: 贡
* 理由: 「貢ぎ物・朝貢・献上物」は中国語で「贡(gòng)」。単独で「貢物」「进贡」などにも派生しやすい。
* 学習コスト: (26)の「贡献」と同根。1文字で明確に“貢ぎ物”を表現できる。

sin/don## **/** 献身 **/ 「献身」は「身を捧げる」ニュアンスで「献身的」とほぼ同義 / 「献(10画)」と「身(7画)」の2字だが、どちらも比較的よく使われる字であり、学習コストは許容範囲**

1. abnegaci / 舍身 / 「abnegation（自己犠牲・自己放棄）」に相当し、「舍身」は自らを投げうつイメージが強い表現 / 「舍(8画)」は初出だが、「身(7画)」は前項と重複利用でき、漢字全体の種類は抑えやすい
2. bastard / 私生子 / 中国語で「私生子」は「非嫡出子・庶子」を指す一般的表現 / 「私(7画)」「生(5画)」「子(3画)」はいずれも頻出で、日本語でも意味を推測しやすい
3. orf / 孤儿 / 「孤児」に相当する標準的な簡体字表記 / 「孤(8画)」はやや画数が多いが、「儿(2画)」との組み合わせは非常に一般的
4. vidv / 鳏夫 / 中国語で「男やもめ（寡婦の男性版）」は「鳏夫」が定訳 / 「鳏(※)」は簡体字でもやや画数・難度が高めだが、標準的かつ簡潔な表現のため採用。学習コストはやや高め  
   (鳏の構造: 「鱼」+「元」の組み合わせで、画数が多く難読の部類です)
5. sklav / 奴隶 / 「奴隷」の標準的表現 / 「奴(5画)」「隶(8画)」はいずれも比較的基本的な部首構成を持つため、学習コストはまずまず
6. ermit / 隐士 / 「隠者」を指す代表的な簡体字表現 / 「隐(7画)」「士(3画)」はいずれも初級～中級レベルの常用字で、日本語話者にも意味を連想しやすい
7. fakir / 行者 / 宗教的な「行者」(修行僧・苦行者)に近いニュアンス / 「行(6画)」「者(8画)」ともに使用頻度が高く、学習コストは低め
8. viktim / 牺牲 / 宗教的・比喩的な「犠牲（被害者・生け贄）」の意味を持つ / 「牺(6画)」「牲(8画)」はいずれも比較的常用の範囲。「受害者」などより簡潔
9. martir / 烈士 / 「殉教者」「犠牲的精神をもつ英雄」といった意味合いに近い / 「烈(10画)」「士(3画)」はよく見る組み合わせで、画数もそこまで多くない
10. laik / 俗人 / 宗教的文脈での「俗人」「在家の人」を指す際の一般的な表現 / 「俗(9画)」「人(2画)」ともに高頻度字で、日本語の「俗」と共通し連想しやすい
11. herez / 异端 / 「異端」「正統から外れた教義」などを指す定訳 / 「异(6画)」「端(14画)」で合わせて20画だが、頻出の熟語なので比較的覚えやすい
12. profan / 亵渎 / 「冒涜・亵渎(けがすこと)」を意味する標準的表現 / 「亵(9画)」「渎(11画)」で20画とやや多めだが、「亵渎」は固定された熟語
13. mim / 哑剧 / 「物まね芝居」「パントマイム」を指す際の一般的表現 / 「哑(9画)」「剧(8画)」はともに舞台芸術関連でよく登場。学習コストは中程度
14. akrobat / 杂技 / 「曲芸師」に近い文脈。中国語で「杂技」はアクロバット全般の意 / 「杂(6画)」「技(4画)」の10画で済み、簡潔
15. monopol / 独占 / 経済用語で「独占」を表す場合によく使われる語 / 「独(9画)」「占(5画)」で14画。日本語でも「独占」としてお馴染み
16. monomani / 偏执狂 / 「偏執狂（パラノイア）」の意味合いで使われる標準表現 / 「偏(11画)」「执(6画)」「狂(7画)」で計24画とやや多いが、医学・心理学で定訳
17. solecism / 语病 / 直訳すると「語法違反」に近い。文法や言葉遣いの誤りを指す / 「语(9画)」「病(10画)」で計19画。日常でも「語病」のように用いられる
18. monolog / 独白 / 演劇・文学で用いられる「独白」 / 「独(9画)」「白(5画)」で14画。「独」を既出(独占など)と重複させ学習コストを抑える
19. monoton / 单调 / 「単調な」や「変化に乏しい」意味で最も一般的 / 「单(8画)」「调(10画)」で計18画。両方とも使用頻度が高く覚えやすい
20. unison / 齐奏 / 音楽での「ユニゾン」。複数の楽器・声部が同旋律を奏する意 / 「齐(6画)」「奏(9画)」で計15画。すでに「齐唱(合唱)」など類似表現もあり一般的
21. liber / 自由 / 「自由な」の意で最も基本 / 「自(6画)」「由(5画)」計11画。日本語でも「自由」と同字
22. liberal / 自由派 / 政治文脈の「自由主義」「リベラル」を端的に表す / 「自由(11画)」+「派(9画)」で計20画。やや長めだが一般的表現
23. improviz / 即兴 / 「即興で作る・演じる」の意味 / 「即(7画)」「兴(6画)」で計13画。演劇・音楽などで広く使われる
24. spontane / 自发 / 「自発的な」「自然発生的な」をシンプルに表現 / 「自(6画)」「发(5画)」で計11画。派生表現も豊富で汎用性が高い
25. kapric / 任性 / 「気まぐれ」「わがまま」「気分次第」の意味合い / 「任(6画)」「性(8画)」で計14画。日常でも使われる言葉で覚えやすい
26. arbitr / 专断 / 「任意・専横・独断的」など「arbitrary」に近いニュアンス / 「专(4画)」「断(11画)」で計15画。政治・判断行為において用例多数

## ****1) naturalism****

ES: naturalism / 自然主义 / 「自然＋主義」の意で、中国語でも一般的な表現 / 「自然」「主」「义」はそれぞれ既出または今後転用しやすい要素

* 理由
  + 中国語では「自然主义」が“自然主義”に相当し、専門用語として通じやすい。
  + 「自然」(nature)＋「主义」(～主義、-ism)は、他の「○○主义」にも転用しやすい組み合わせ。
* 学習コスト
  + 4文字とやや長めだが、どれも頻出度が高く、画数も極端には多くない。

## 2) natur

ES: natur / 自然 / 意味を直接表す「自然」が最も一般的 / すでに「naturalism」にも含まれる

* 理由
  + 「自然」は「nature」の最も標準的な訳語で、中国語・日本語ともに意味把握が容易。
* 学習コスト
  + 2文字。「自」は何度も登場し得る常用字であり、「然」も比較的使用頻度が高い。

## 3) instinkt

ES: instinkt / 本能 / 「本能」が最も直接的 / 常用の2文字熟語

* 理由
  + 中国語でも「本能」は「instinct」の意味で広く通用。
* 学習コスト
  + 2文字。いずれも比較的よく使う常用字。

## 4) aŭtograf

ES: aŭtograf / 亲笔 / 「親筆」のニュアンスが「自筆サイン」に近い / 中国語でも「亲笔签名」の略として通る

* 理由
  + 「署名」「签名」も近いが、エスペラント側の「自筆(=本人が直接書いた)」というニュアンスを強調するには「亲笔」のほうが自然。
* 学習コスト
  + 2文字。「亲」(親)はやや画数多め(9画)だが、高頻度漢字。「笔」(筆)も再利用の可能性がある。

## 5) aŭtobiografi

ES: aŭtobiografi / 自传 / 「自伝」の標準訳 / 「自＋伝」の組み合わせは分かりやすい

* 理由
  + 中国語で「自传」は「自己の伝記(autobiography)」の意で定着している。
* 学習コスト
  + 2文字。「自」は再利用必至、「传」は「伝える」の簡体字で頻度高し。

## 6) individu

ES: individu / 个人 / 「個人」の標準表現 / 短く分かりやすい

* 理由
  + 中国語で「个人」は「individual, personal」の意を直接表す。
* 学習コスト
  + 2文字。「个」は簡体字で画数が少なく、「人」も常用中の常用。

## 7) propr

ES: propr / 固有 / 「固有の」「特有の」という意味を短く表現 / 常用熟語

* 理由
  + 「propr」は「固有の」「特有の」「自分自身の」というニュアンスがあり、「固有」が比較的近い。
  + 「特有」も近いが、画数面では「固」(8画)＋「有」(6画)で計14画、「特」(10画)＋「有」(6画)よりは少しだけ優位。
* 学習コスト
  + 2文字。どちらも初出だが比較的よく用いられる漢字。

## 8) privat

ES: privat / 私人 / 「私人的」または「私有」などもあるが、より端的な2文字で

* 理由
  + 「私人」は「個人の／私的な」という含みを持ち、中国語でも「私人空间(プライベート空間)」などの語でよく使われる。
* 学習コスト
  + 2文字。「私」は日本語でも通じる常用字、「人」は既出で学習済み。

## 9) aŭtonom

ES: aŭtonom / 自治 / 標準訳で簡潔

* 理由
  + 自治省・自治区などでお馴染みの「自治」。日本語圏・中国語圏共に意味把握しやすい。
* 学習コスト
  + 2文字。「自」は再利用多し、「治」(9画)は中国語の常用字。

## 10) mem

ES: mem / 自己 / 「自身」「自分」を端的に示す / 再利用頻度の高さ

* 理由
  + 中国語では「自己」は「自分自身」を表す代表的表現で、非常に頻度が高い。
* 学習コスト
  + 2文字。「自」は既出、「己」も画数は3画と比較的少ない。

## 11) antipod

ES: antipod / 对跖地 / 対蹠地を示す専用用語（特殊用語）

* 理由
  + 中国語で「antipodes」は「对跖地(或对蹠点)」などとされるが、専門性が高い。
* 学習コスト
  + 3文字。「跖」の画数(13画)はやや多いが、対蹠地自体がマイナー語なのでやむを得ない。
  + 必要に応じ「未対応」も検討可。

## 12) kontrapunkt

ES: kontrapunkt / 对位 / [楽]対位法

* 理由
  + 中国語で音楽理論の「counterpoint」は「对位法」が一般的だが、短縮して「对位」でも通じる。
* 学習コスト
  + 2文字。どちらも比較的画数が少ない。

## 13) paradoks

ES: paradoks / 悖论 / 「逆説」「パラドックス」を示す標準表現

* 理由
  + 中国語で「悖论」は「パラドックス(矛盾や逆説)」の定訳に近い。
* 学習コスト
  + 2文字。やや専門的な語だが、漢字自体は新聞などで見かける頻度もある。

## 14) invers

ES: invers / 逆 / 「逆(の)」「反転」「反対向き」といった意味を端的に表す

* 理由
  + 単に「逆」という漢字が「反転・倒置・逆行」など幅広い「invers」の意味を担える。
* 学習コスト
  + 1文字。9画だが、比較的頻度高め。

## 15) mal

ES: mal / 反 / エスペラントの「正反対を示す接頭辞」

* 理由
  + 「mal-」は「反対」の接頭辞として「反」が最も端的。
* 学習コスト
  + 1文字。画数4画と少ないため、再利用しやすい。

## 16) rezist

ES: rezist / 抗 / 「抵抗する」を示す1文字

* 理由
  + 「抗」は「抵抗」「対抗」「抗議」など「反対・抵抗」の意味を単独で持つ常用字。
  + 2文字「抵抗」も可だが、学習コスト低減のため1文字に集約。
* 学習コスト
  + 1文字(7画)。単独でも意味が通りやすい。

## 17) konflikt

ES: konflikt / 冲突 / 最も一般的で分かりやすい

* 理由
  + 中国語で「冲突」は「conflict, clash」を代表する常用熟語。
* 学習コスト
  + 2文字。やや画数はあるが頻度が高い。

## 18) antipati

ES: antipati / 反感 / 「反感」「嫌悪感」を表す代表的な2文字熟語

* 理由
  + 中国語で「反感」は「嫌だと思う感情」「反発心」を直接示す。
* 学習コスト
  + 2文字。どちらの字も既出(「反」はmalなどで使用中)。

## 19) opozici

ES: opozici / 反对 / 政府や首脳部に対し反対意見を表す場合などに最頻出

* 理由
  + 「反对」は「to oppose, to be against」の標準的表現。
* 学習コスト
  + 2文字。いずれも再利用度が高い。

## 20) opozici##

ES: opozici## / 反对 / (上と同様、名詞形「反対」含むニュアンス)

* 理由
  + 本来「opozicio(反対,野党,オポジション)」は名詞だが、中国語でも名詞用法で「反对(意见)」と言える。
  + 必要に応じて「反对派」(反対派)などへ拡張も可。
* 学習コスト
  + 同じく2文字で、再利用度は高い。

## 21) protest

ES: protest / 抗议 / 「抗議する」の中国語定訳

* 理由
  + 「抗议」は「to protest」を直接表す熟語。
* 学習コスト
  + 2文字。「抗」はすでに「rezist」で出てきた漢字で再利用可。

## 22) opon

ES: opon / 反对 / 「(に)反対する」、意見を異にする

* 理由
  + 「o p o n」は「反対」や「阻む」「意見を異にする」ニュアンスで、「反对」で対応可能。
* 学習コスト
  + 2文字(すでに登場しているため学習済み)。

## 23) ekstaz

ES: ekstaz / 狂喜 / 「エクスタシー」「恍惚」「歓喜状態」を端的に表す

* 理由
  + 中国語で「狂喜」は「発狂するほど喜ぶ」→「エクスタシー」「至上の喜び」を連想しやすい。
  + 「陶醉」「忘我」等も候補だが、2文字で比較的わかりやすい「狂喜」を採用。
* 学習コスト
  + 2文字。「狂」(7画)と「喜」(12画)はいずれも常用。

## 24) apostrof

ES: apostrof / 撇号 / アポストロフィ記号「'」の中国語表記

* 理由
  + 中国語でアポストロフィは「撇号」と呼ばれることが多い。
* 学習コスト
  + 2文字。専門用語だが「号」は他でも使う機会がありうる。

## 25) abiturient

ES: abiturient / 未対応 (または「高中毕业生」等) / 高校卒業資格に関わる特殊用語

* 理由
  + 「アビトゥーリエント」はドイツなど一部地域の大学進学資格(Abitur)に関連する概念で、中国語では「高中毕业生」「中学毕业考试」など長い表現になりがち。
  + 学習コストがかさむため、ここでは「未対応」としてもよい。
* 学習コスト
  + 専門性が高く、一般学習者には不要と割り切って良いかもしれない。

## 26) pasiv

ES: pasiv / 被动 / 「受動的」「受け身の」意味で中国語の定番

* 理由
  + 中国語「被动」は「passive」の常用訳。
* 学習コスト
  + 2文字。「被」(10画)と「动」(6画)の組み合わせで頻度も比較的高い。

## 27) diplom

ES: diplom / 文凭 / 「免状」「学位記」「卒業証書」などを比較的端的に表す

* 理由
  + 中国語で「文凭」は「diploma」「certificate」の意味合いが強く、簡潔。
  + 「证书」も候補だが「文凭」の方が学業系に特化したニュアンスが近い。
* 学習コスト
  + 2文字。「文」は画数少なく汎用性高い。「凭」はやや画数多めだが、他の「証明書」よりは短い。